Software RIP

RasterLink6

スタートアップガイド

株式会社ミマキエンジニアリング

Version 1.1

D202347-11

マニュアルの種類と使い方

本装置には、次の説明書が付属しています。

インストールガイド

RasterLink6 のインストール方法と RasterLink6 の設定方法を説明します。

スタートアップガイド

基本操作や簡単な使用方法など、RasterLink6 を使用していく上で必要な項目について説明しています。

今読んでいる取扱説明書です。

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複写することは固くお断りいたします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することがあります。
- 本ソフトウェアの改良変更等により、仕様面において本書の記載事項が一部異なる場合があります。ご了承ください。
- 本ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行する以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してのメディア（ワーク）等の損失、メディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

Adobe、Adobe ロゴ、Photoshop、Illustrator および PostScript は、アドビシステムズ社の商標です。
Apple、Macintosh、Power Macintosh、Mac OS、Mac OSX は、Apple Inc, の登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsXP、WindowsVista 、Windows 7 は、
Microsoft Corporation の米国ならびにその他の国での登録商標または商標です。
その他、本書に記載されている会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

この取扱説明書について

本書は “RasterLink6” の取り扱いについて説明しています。

本文中の表記について

メニューに表示される項目は、[フルカラー] のように [] で囲っています。
ダイアログに表示されているボタンは、 更新 のように　　で囲っています。

マークについて

重要! 操作を行う上で、注意する点を説明しています。

知っていると便利な事について説明しています。

関連した内容の参照ページを示しています。

用語について

ジョブ : RasterLink6 が取り扱う印刷ファイルのことを “ ジョブ ” と称します。
Adobe Illustrator などのアプリケーションソフトウェアから出力した各種フォーマットの入力データを RasterLink6 にスプールすると RasterLink6 に登録され、ジョブになります。

幅 : RasterLink6 の設定画面で表示する [幅] とは、プリンタのヘッドが動く方向（Y 方向）を指します。

送り : RasterLink6 の設定画面で表示する [送り] とは、プリンタのメディアが動く方向（X 方向）を指します。

目 次

マニュアルの種類と使い方 2

ご注意 2

この取扱説明書について 3

本文中の表記について 3
マークについて 3
用語について 3

RasterLink6 について 6

プロファイルのインストール 7

プロファイルとは 7
プロファイルマネージャー 7
デバイスプロファイルのインストール 8
入力プロファイルのインストール 9

プリンタの登録 10

印刷するまでの手順 13

スプールする 14
編集・印刷する 16

機能説明 17

メイン画面について 17
共通項目 17
お気に入り設定 18
機能アイコン 20
情報表示 21
面付け 23
通常印刷 24
タイリング編集 26
配置編集 28
版作成 29
合成 30
レイヤー 31
印刷条件 32
カラー調整 34
色置換 36
印刷 38
複製 39
バックアップ・リストア 40
削除 41

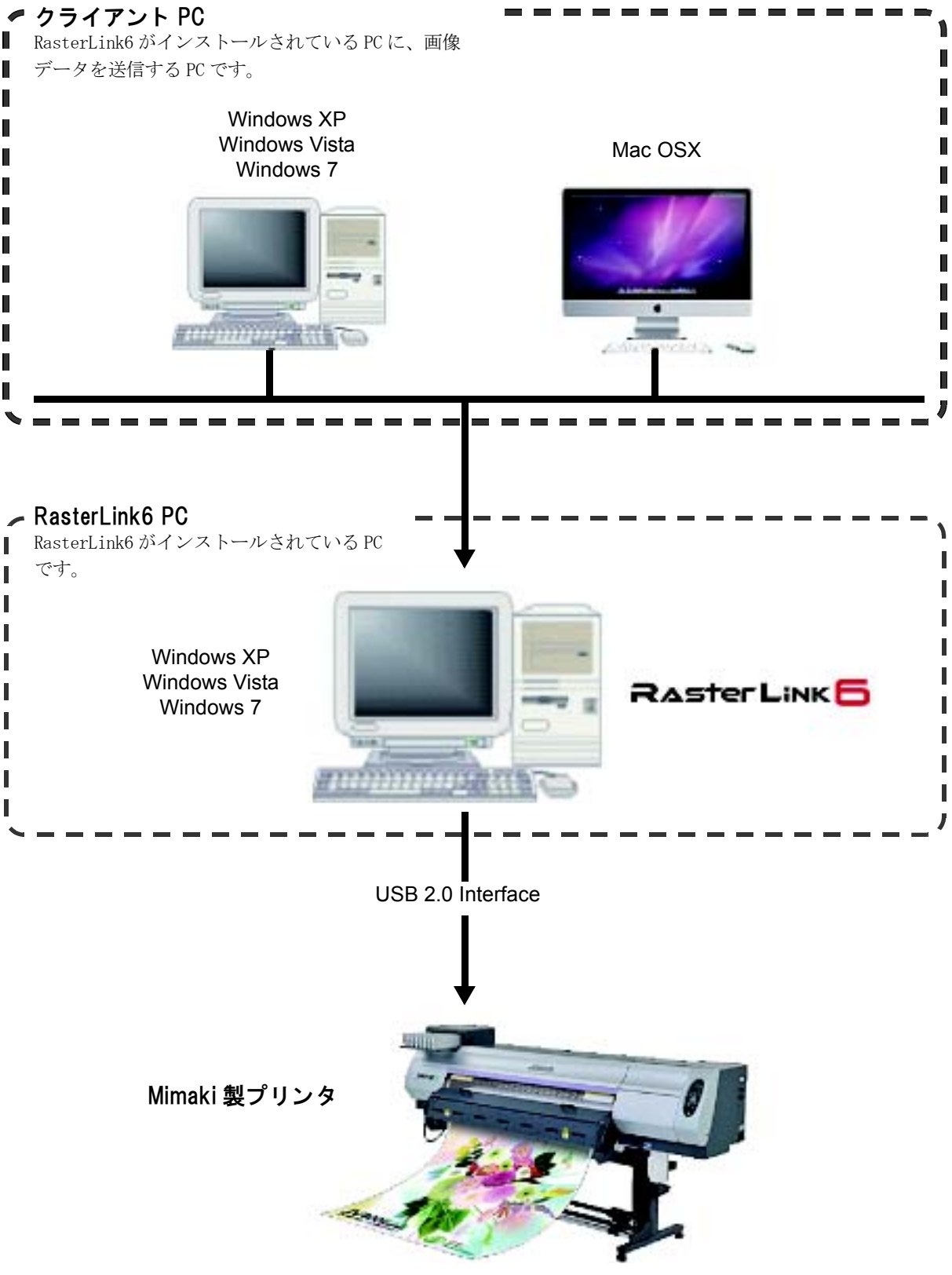
メニュー 42
メニュー一覧 42
［ファイル］－［開く ...］ 42
［ツール］－［RGB ／ CMYK ／特色カラーチャート］ 43
［ツール］－［カラーコレクション］ 50
［環境設定］－［オプション ...］ 53
［環境設定］－［プリンタ管理］ 57

注意事項 59

RasterLink6 について

この度は、弊社製品をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。

RasterLink6 は、PostScript 3 フォーマットのデータを受け、ミマキエンジニアリング製インクジェットプリンタに作画データを供給するアプリケーションソフトウェアです。



プロファイルのインストール

RasterLink6 を使用する前に、［プロファイルマネージャー］を起動してプロファイルをインストールします。

プロファイルとは

入力画像の色、または印刷する色を定義したファイルをプロファイルといいます。
プロファイルには、入力プロファイルとデバイスプロファイルの 2 種類があります。

入力プロファイル..... RIP が画像の色情報を取得するために使用されます。
デバイスプロファイル ..... 入力プロファイルで取得された色情報から、プリンタの能力を最大に生かした色再現を行うために使用されます。使用するメディア、印刷解像度などの印刷条件ごとに多数存在します。また色の情報だけでなくヒーター温度のような印刷環境に関する情報も持っています。

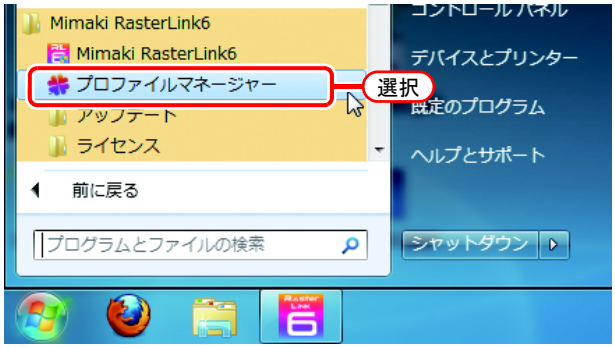
プロファイルマネージャー

プロファイルマネージャーは、プロファイルのインストール、アンインストールを行うツールです。

RasterLink6 を起動するには、以下のプロファイルをそれぞれ最低 1 つずつインストールする必要があります。

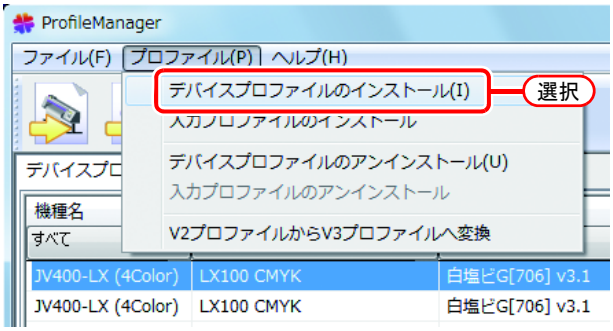
- 使用する機種のデバイスプロファイル
- 入力 RGB プロファイル
- 入力 CMYK プロファイル

プロファイルマネージャーは［スタート］-［すべてのプログラム］-［Mimaki RasterLink6］-［プロファイルマネージャー］メニューから起動します。

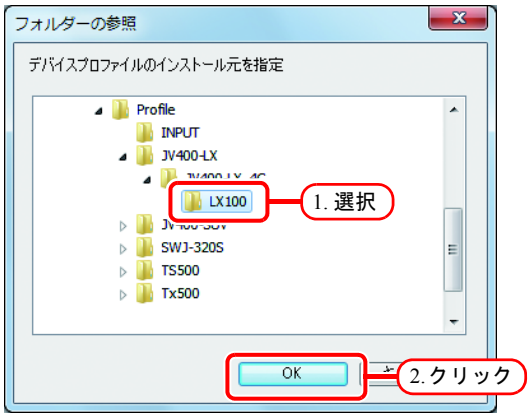


デバイスプロファイルのインストール

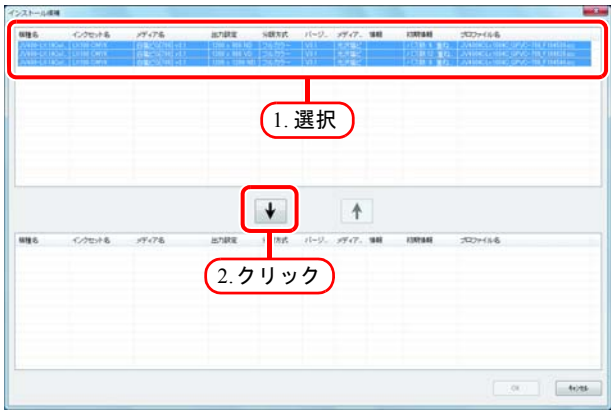
1 ［デバイスプロファイルのインストール］を選択します。



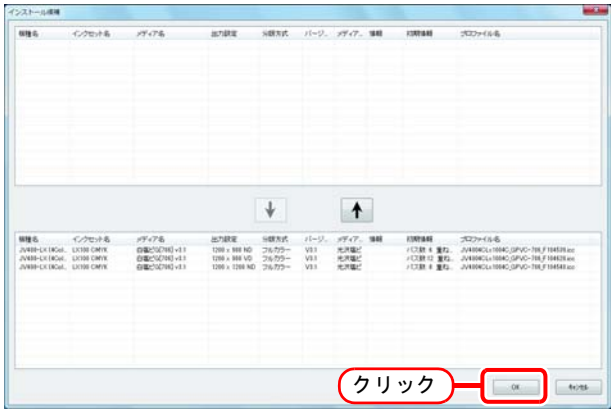
2 インストールするデバイスプロファイルのフォルダを選択し、OK ボタンをクリックします。



3 選択したフォルダ内のデバイスプロファイルの一覧が上段に表示されます。インストールするプロファイルを選択し、↓ボタンをクリックします。

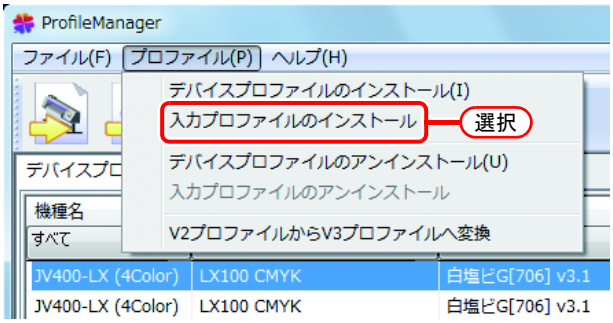


4 OK ボタンをクリックします。

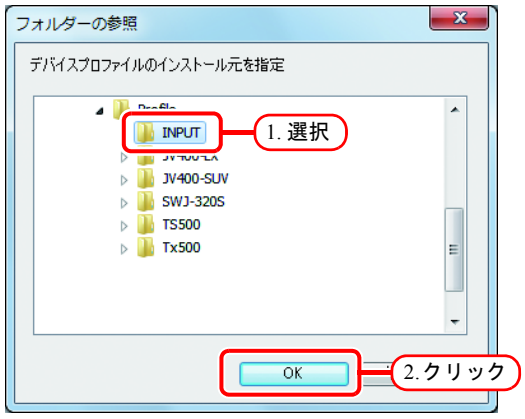


入力プロファイルのインストール

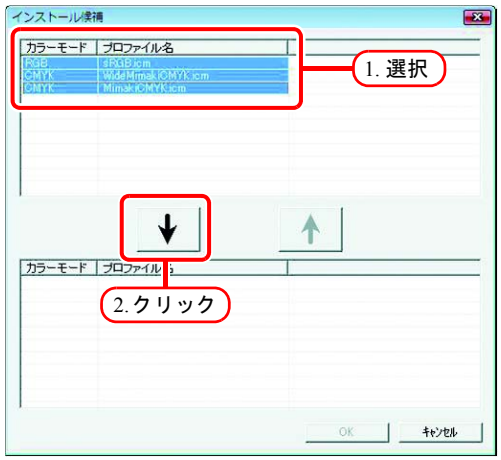
1 ［入力プロファイルのインストール］を選択します。



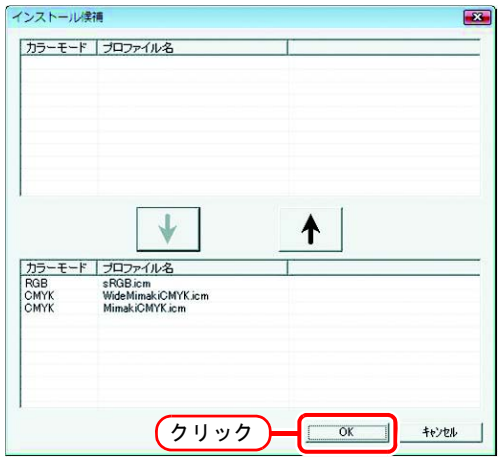
2 インストールする入力プロファイルのフォルダを選択し、OK ボタンをクリックします。



3 選択したフォルダ内の入力プロファイル一覧を上段に表示します。インストールするプロファイルを選択し、↓ ボタンをクリックします。



4 OK ボタンをクリックします。



プリンタの登録

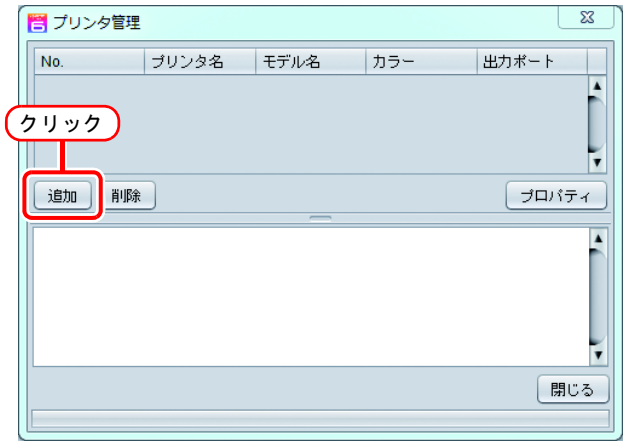
RasterLink6 のインストール直後はプリンタが登録されていません。［プリンタ管理］機能で使用するプリンタを登録します。

1 使用するプリンタの電源を入れて、RasterLink6 PC とプリンタが USB 2.0 ケーブルで接続されていることを確認します。

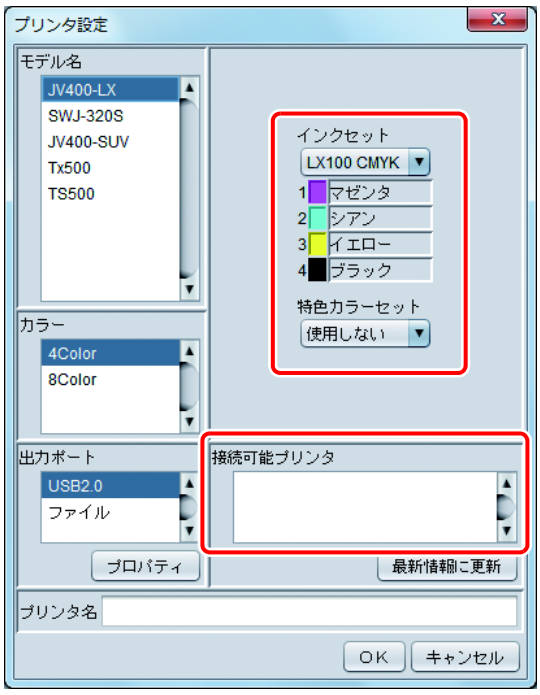
重要！

- RasterLink6 に USB 2.0 インターフェイスで複数のプリンタを接続する場合は、あらかじめ各プリンタの [マシン　メイショウ] を操作パネルでユニークな名称に変更しておく必要があります。

2 プリンタが登録されていない状態で RasterLink6 を起動すると、［プリンタ管理］画面が表示されます。
画面の 追加 をクリックします。

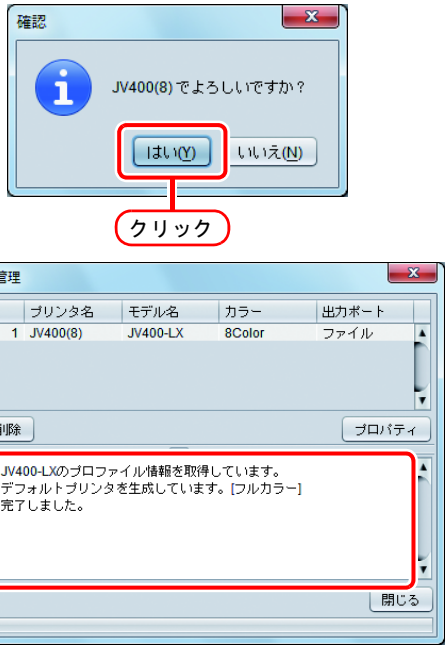


3 ［出力ポート］で [USB 2.0] を指定した場合は、接続されているプリンタの [マシン　メイショウ] が接続可能プリンタのリストに一覧表示されます。
［インクセット］に、接続されているプリンタに装着されているインクセットが、自動的に表示されます。



4 実際に接続するプリンタに合わせて、［モデル名］、［カラー］、［接続可能プリンタ］を選択します。
［出力ポート］には、通常 [USB 2.0] を指定します。
［出力ポート］に［ファイル］を選択した場合は、［インクセット］も選択してください。
OK ボタンをクリックします。

5 確認画面で はい をクリックします。
追加処理が完了すると、情報表示欄に［完了しました。］というメッセージが表示されます。



重要！

- プリンタを登録しただけではホットフォルダ、プリンタドライバは作成されません。ホットフォルダ , プリンタドライバは [お気に入り設定] 機能で作成してください。

印刷するまでの手順

プロファイルのインストール (☞P.7) とプリンタの登録 (☞P.10) を行うことで、RasterLink6 からデータを印刷する準備が整いました。

ここでは RasterLink6 を使用してデータを出力する最も簡単な方法を説明します。

出力の手順は以下のようになります。

重要! バンドル版の RasterLink6 で RIP または印刷する場合、使用するプリンタの電源を入れ、RasterLink6 PC とプリンタが USB2.0 ケーブルで接続されている必要があります。

スプールする ☞P.14

出力する画像を RasterLink6 に読み込みます。

▼

編集・印刷する ☞P.16

［通常印刷］画面で画像を編集し印刷します。

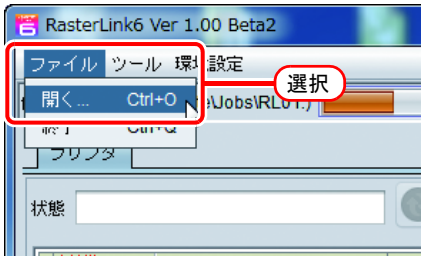
スプールする

RasterLink6 に印刷データを読み込ませることを［スプール］といいます。
RasterLink6 に画像をスプールする方法は 4 種類あります。

方法	内容	読込可能なファイル形式
［開く］メニュー	［ファイル］―［開く］メニューからファイルをスプールする。	PS, EPS, TIFF, JPEG, BMP, PDF1.4
ドラッグアンドドロップ	スプールするファイルのアイコンを、RasterLink6 のウィンドウへドラッグアンドドロップします。 **重要！** ・RasterLink6 PC の OS が Windows Vista / Windows 7 の場合、管理者権限を持つユーザで RasterLink6 を実行すると、ファイルのドラッグアンドドロップでジョブをスプールすることはできません。	
ホットフォルダ	RasterLink6 インストールフォルダ内の［Hot］―［お気に入り名］フォルダへスプールするファイルをコピーします。	
プリンタドライバ	Adobe Illustrator などのアプリケーションソフトウェアから、RasterLink6 により自動生成されるプリンタドライバを使用してスプールします。	――――

ここでは RasterLink6 の [ファイル] ― [開く] メニューからファイルをスプールする方法を説明します。

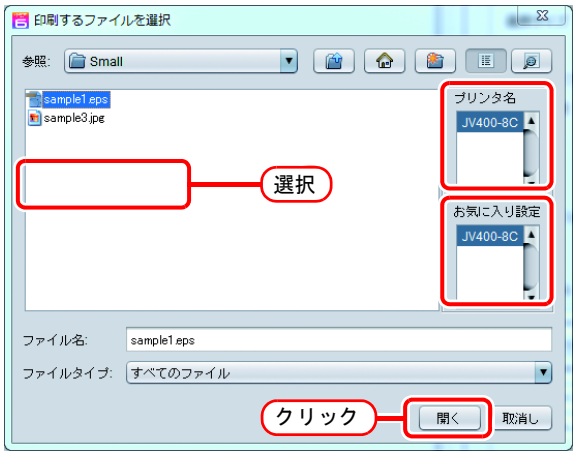
1 [ファイル]―[開く]メニューを選択します。



2 スプールするファイルを選択します。

スプールするファイルは、複数選択することができます。

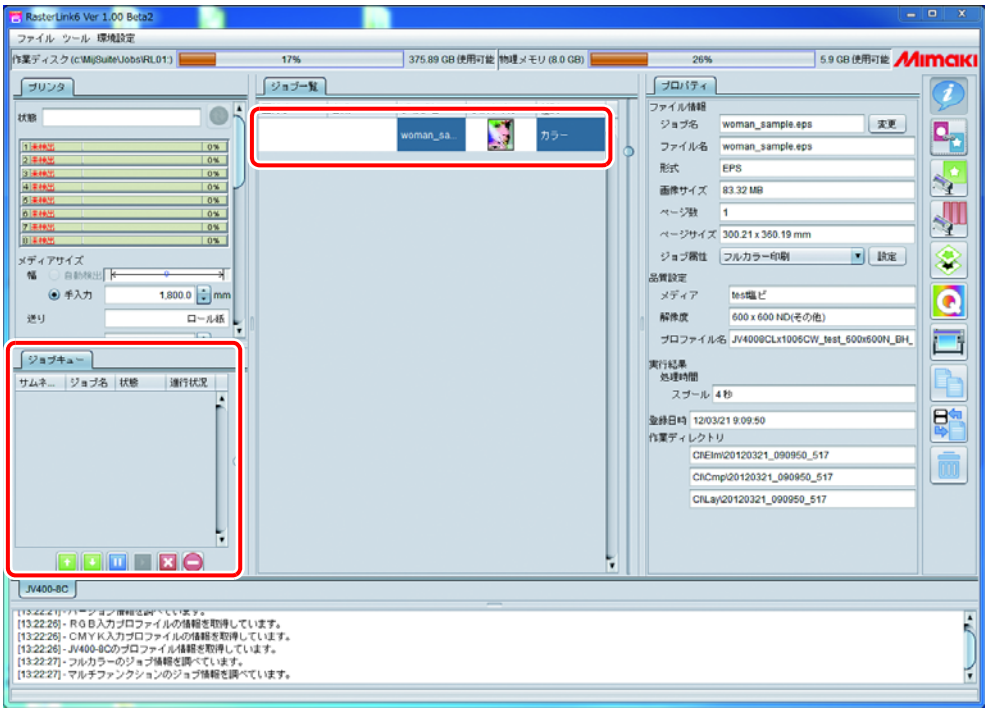
重要！ ・ショートカットファイルからスプールすることはできません。必ず画像データのファイルを選択してください。



複数のプリンタを登録した場合は［プリンタ名］でスプール先のプリンタを選択します。
また、複数の［お気に入り設定］を登録した場合は、適用する［お気に入り設定］を選択します。

開く ボタンをクリックします。

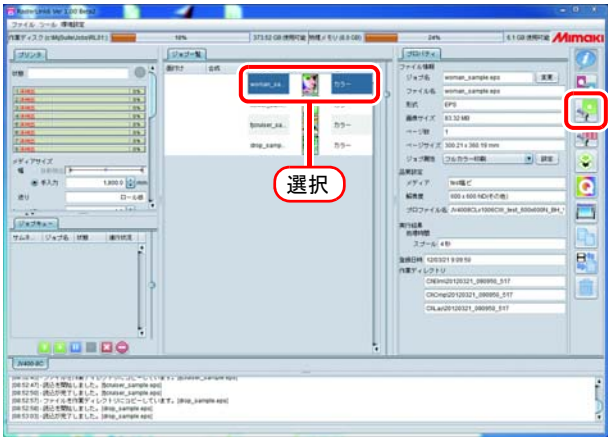
3 ジョブキュー画面にスプールの進行状況が表示され、完了するとジョブ一覧画面にスプールしたファイルが表示されます。



編集・印刷する

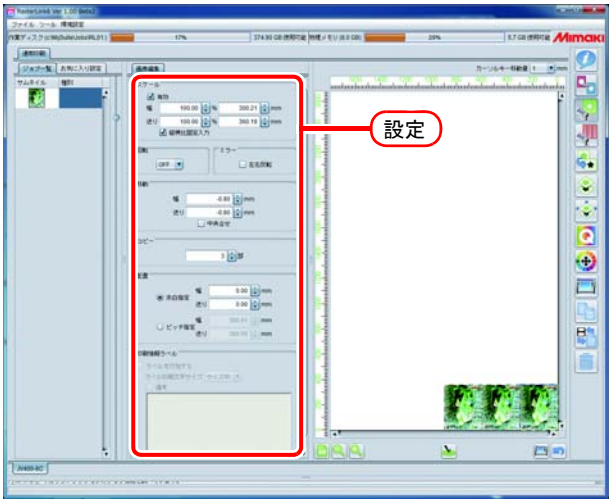
［通常印刷］画面で画像のレイアウトやコピーの指定を行い、印刷します。

1 ジョブ一覧から印刷するジョブを選択し、［通常印刷］アイコンをクリックします。

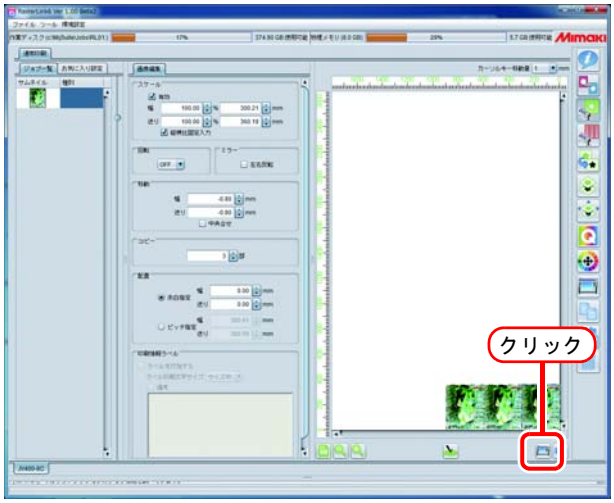


2 ［通常印刷］画面で以下の設定を行います。

［スケール］ 画像の拡大／縮小を指定します。
［回転］ 画像を回転します。
［ミラー］ 画像を左右に反転します。
［移動］ 画像の印刷位置を変更します。
［コピー］ 画像を指定部数コピーし印刷します。



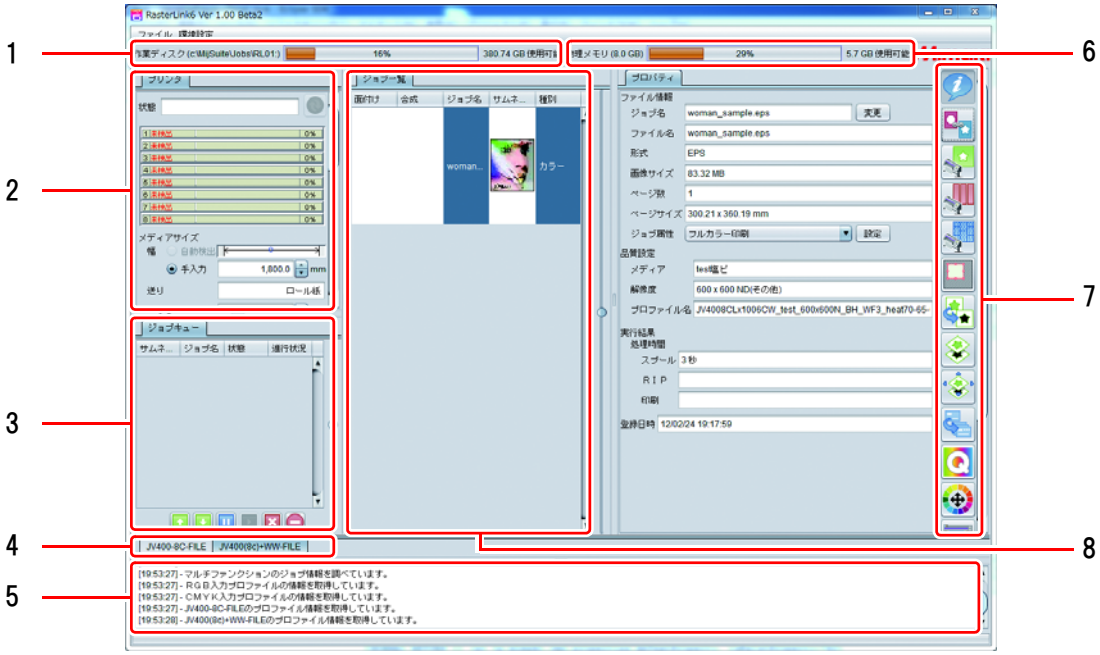
3 ［印刷］アイコンをクリックすると、［実行］画面に切り替わり印刷が開始されます。



機能説明

メイン画面について

共通項目



1. **作業ディスク**
   作業フォルダがあるディスクの使用状況を表示します。

2. **プリンタステータス**
   プリンタの状態やインクの残量を表示します。

3. **ジョブキューリスト**
   印刷ジョブの状況を表示します。
   印刷ジョブの中断／削除／印刷順の変更などが行えます。

4. **プリンタ切替**
   対象プリンタを切り替えます。

5. **情報表示**
   RasterLink の処理状況を表示します。

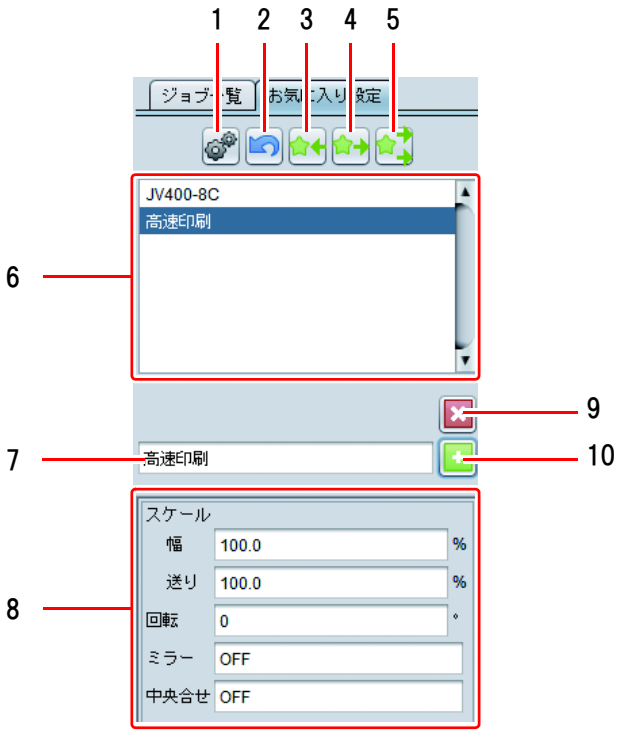
6. **物理メモリ**
   RasterLink パソコンの物理メモリ量及び使用状況を表示します。

7. **機能アイコン**
   目的に応じた機能がアイコンで表示されています。（☞ P.20）

8. **ジョブ一覧**
   ジョブを一覧で表示します。ジョブの面付けや合成の状態を確認できます。

お気に入り設定

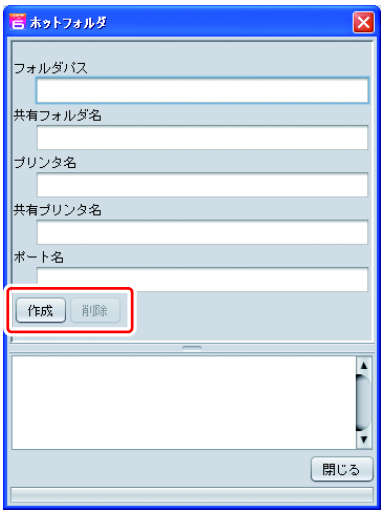
RasterLink6 は出力条件の設定値を、［お気に入り設定］へ登録することができます。登録されたお気に入りを呼び出すことで、よく使う出力条件を簡単に設定することが可能です。



1. ホットフォルダ設定

選択されている［お気に入り設定］のホットフォルダとプリンタドライバを、作成または削除します。
作成されたホットフォルダまたはプリンタドライバに対しデータをスプールすると、［お気に入り設定］の設定値が、スプールしたジョブに適用されます。

［ホットフォルダ設定］アイコンをクリックすると右記の［ホットフォルダ］画面が表示されます。
作成 ボタンをクリックすると、ホットフォルダとプリンタドライバが作成されます。
すでに作成済みの場合は、削除 ボタンで削除できます。



重要！
・ ホットフォルダおよびプリンタドライバを作成する場合は、管理者権限に昇格する必要があります。

2. 保存取り消し

直前の保存を取り消します。

3. 保存

ジョブの設定値を［お気に入り設定］に保存します。

4. 適用

［お気に入り設定］の設定値を、編集中の画面の設定項目に適用します。

5. すべて適用

編集中の画面の設定項目だけでなく、印刷条件を［お気に入り設定］から編集中のジョブに適用します。

6. お気に入り設定リスト

［お気に入り設定］のリストを表示します。
［環境設定］－［プリンタ管理］メニューでプリンタを登録すると、登録した［プリンタ名］でデフォルトのお気に入り設定が追加されます。

7. 追加名称

追加する［お気に入り設定］の名称を入力します。

8. 設定値

選択されている［お気に入り設定リスト］に保存されている、設定項目と設定値を表示します。

9. 削除

選択されている［お気に入り設定］を削除します。
ホットフォルダおよびプリンタドライバが作成されている場合は、同時に削除します。
デフォルトの［お気に入り設定］（プリンタと同じ名称）は削除できません。

10. 追加

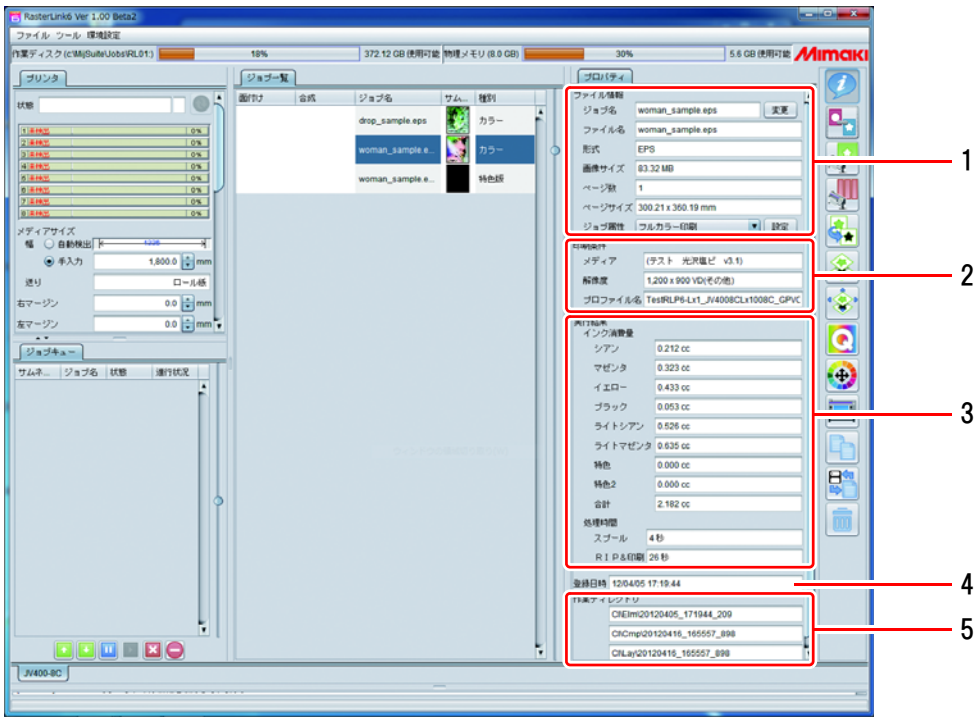
編集中のジョブの設定値で［お気に入り設定］を新規追加します。

機能アイコン

ボタン	機能	説明
	情報表示	ジョブの情報を表示します。（☞P.21）
	面付け	複数のジョブを面付け設定します。（☞P.23）
	通常印刷	ジョブをレイアウトし、印刷します。（☞P.24）
	タイリング編集	タイリング印刷の設定をします。（☞P.26）
	版作成	特色インクの版を作成します。特色インクカートリッジを装着していないプリンタでは、この機能は表示されません。（☞P.29）
	合成	複数のジョブを合成します。（☞P.30）
	レイヤー	レイヤー印刷の設定をします。（☞P.31） 特色インクカートリッジを装着していないプリンタでは、この機能は表示されません。
	印刷条件	印刷の条件を設定します。（☞P.32）
	色置換	色置換の設定をします。（☞P.36）
	印刷	設定したジョブを印刷します。（☞P.38）
	複製	選択したジョブを複製します。（☞P.39）
	バックアップ・リストア	ジョブの保存・復元をします。（☞P.40）
	削除	選択したジョブを削除します。（☞P.41）

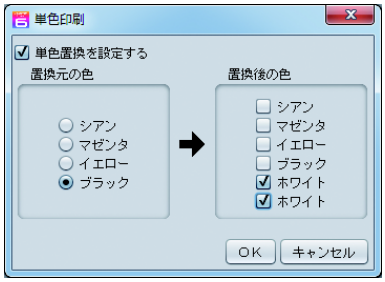
情報表示

ジョブの情報を表示します。



1. ファイル情報

［ジョブ名］　ジョブの名称を表示します。変更 ボタンで変更することもできます。
［ファイル名］　元画像のファイル名を表示します。
［形式］　元画像のファイル形式を表示します。
［画像サイズ］　元画像のファイルサイズを表示します。
［ページ数］　元画像のページ数を表示します。
［ページサイズ］　1 ページの領域サイズを表示します。
［ジョブ属性］　印刷の種類を表示または設定します。
　［フルカラー印刷］ フルカラーで印刷します。
　［単色印刷］　フルカラーを単色に置き換えて印刷します。［単色印刷］を選択すると、下記の［単色印刷］画面が表示され、元画像の色をインクの色に置き換える設定を行います。
　［特色版］　特色版のジョブを選択している場合に表示されます。



2. 印刷条件

［メディア］　印刷するメディアの種類を表示します。
［解像度］　印刷解像度を表示します。
［プロファイル名］　印刷に使用するプロファイル名を表示します。

3. 実行結果

［インク消費量］　印刷で消費したインクの消費量を、インク別に表示します。
［環境設定］－［オプション ...］メニューの［ジョブ制御］（☞P.53）にて［インク消費量を算出する］をチェックした場合に表示されます。
［処理時間］　各処理に掛かった時間を表示します。

4. 登録日時

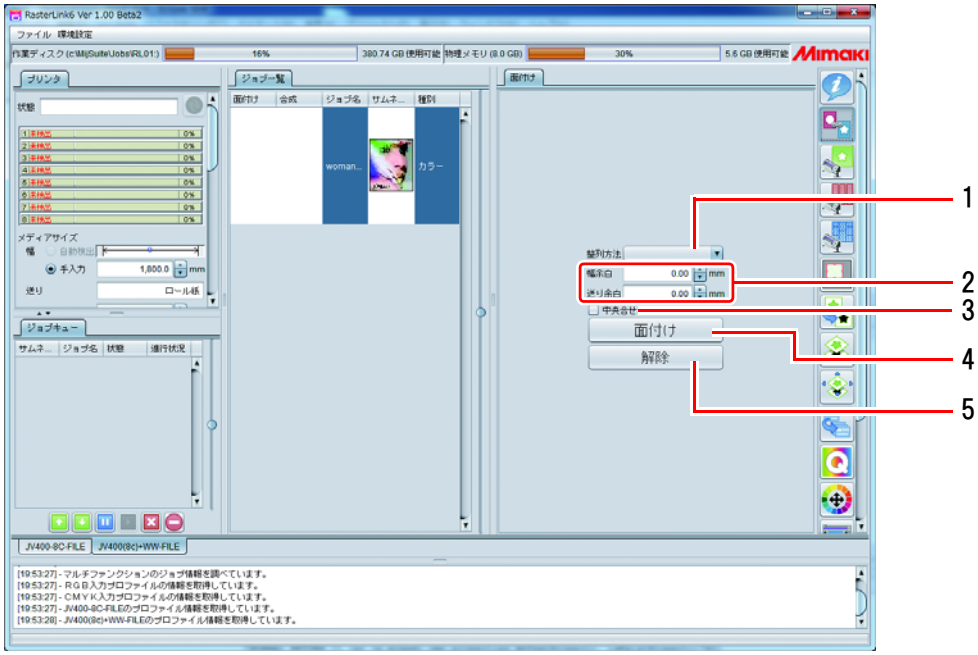
ジョブを登録した日時を表示します。

5. 作業ディレクトリ

ジョブの情報を保存している作業ディレクトリ名を表示します。

面付け

複数のジョブを面付け設定します。



1. 整列方法

合成ジョブの整列方法を指定します。
［順次］　　メディアの送り方向にジョブを配置します。
［面積最小］　メディアを有効に使用するようにジョブを配置します。

2. 幅余白、送り余白

幅方向／送り方向の余白を設定します。

3. 中央合せ

チェックをつけると、メディアの幅の中央にジョブを配置します。

4. 面付け

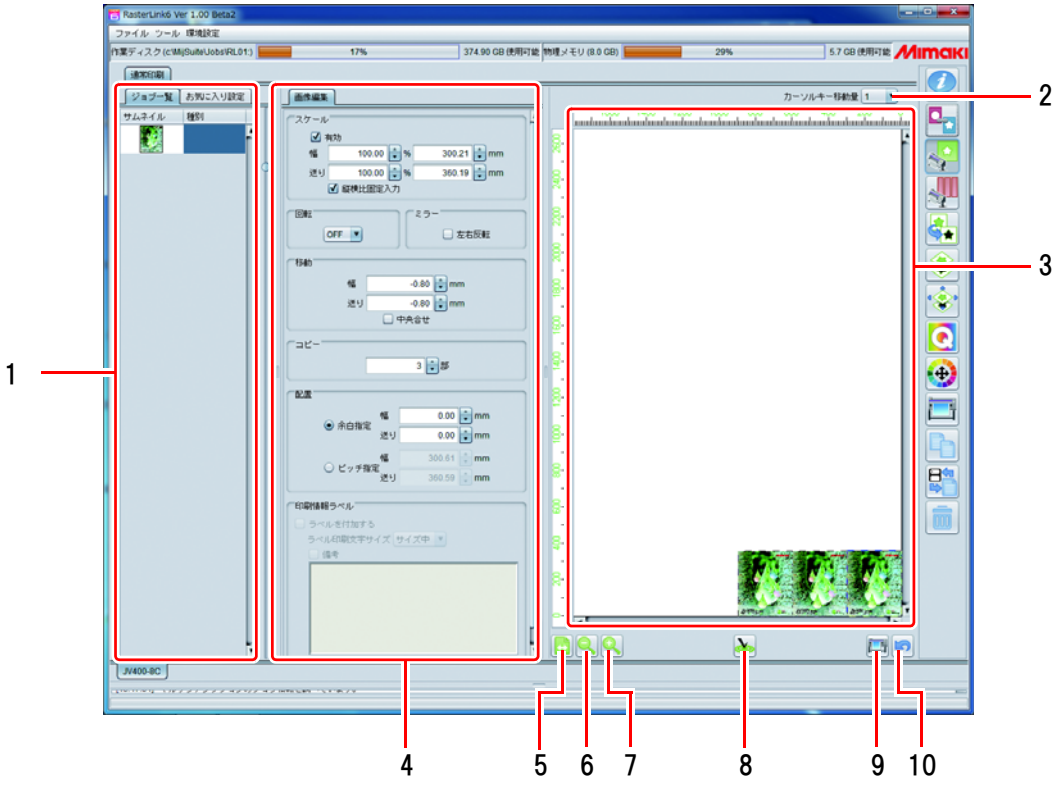
面付けを実行します。

5. 解除

面付け設定を解除します。

通常印刷

ジョブをレイアウトし、印刷します。



1. ジョブ一覧

印刷対象のジョブを一覧で表示します。

2. カーソルキー移動量

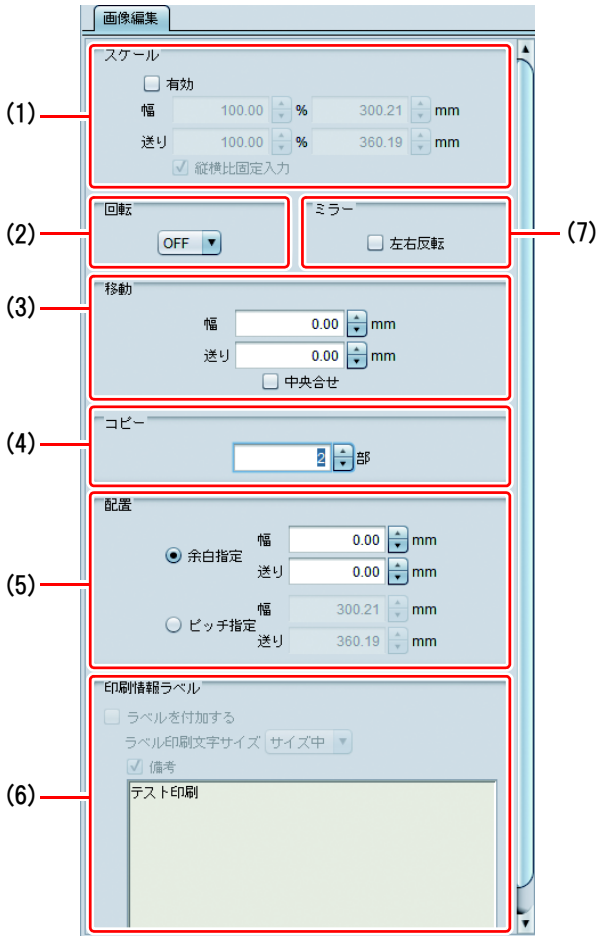
カーソルキーでジョブを移動する際の移動量を設定します。

3. プレビュー

印刷イメージをプレビュー表示します。
個々の画像をドラッグ＆ドロップで移動させることができます。

4. 画像編集

ジョブをレイアウトします。



(1) スケール

［有効］をチェックすると、指定倍率または長さで選択ジョブの印刷サイズを設定できます。
［縦横比固定入力］をチェックすると、縦横比を保ったまま拡大／縮小できます。

(2) 回転

選択ジョブを 90 度単位で回転します。

(3) 移動

原点からのオフセット量を指定します。
［中央合せ］をチェックすると、メディア幅の中央に配置します。

(4) コピー

選択ジョブのコピー数を設定します。

(5) 配置

［余白指定］または［ピッチ指定］で配置を指定できます。
面付け配置の場合、［ピッチ指定］の配置はできません。

(6) 印刷情報ラベル

印刷情報をラベルとして印字します。

(7) ミラー

選択ジョブを左右反転します。

5. メディア幅表示

プレビューの表示幅をメディアの幅に合わせます。

6. ズームアウト

プレビューを縮小表示します。

7. ズームイン

プレビューを拡大表示します。

8. 最適化

メディアを効率よく使用するように、印刷画像のレイアウトを調整します。
[最適化] を実行した場合には、[最適化] 実行前の状態に戻します。

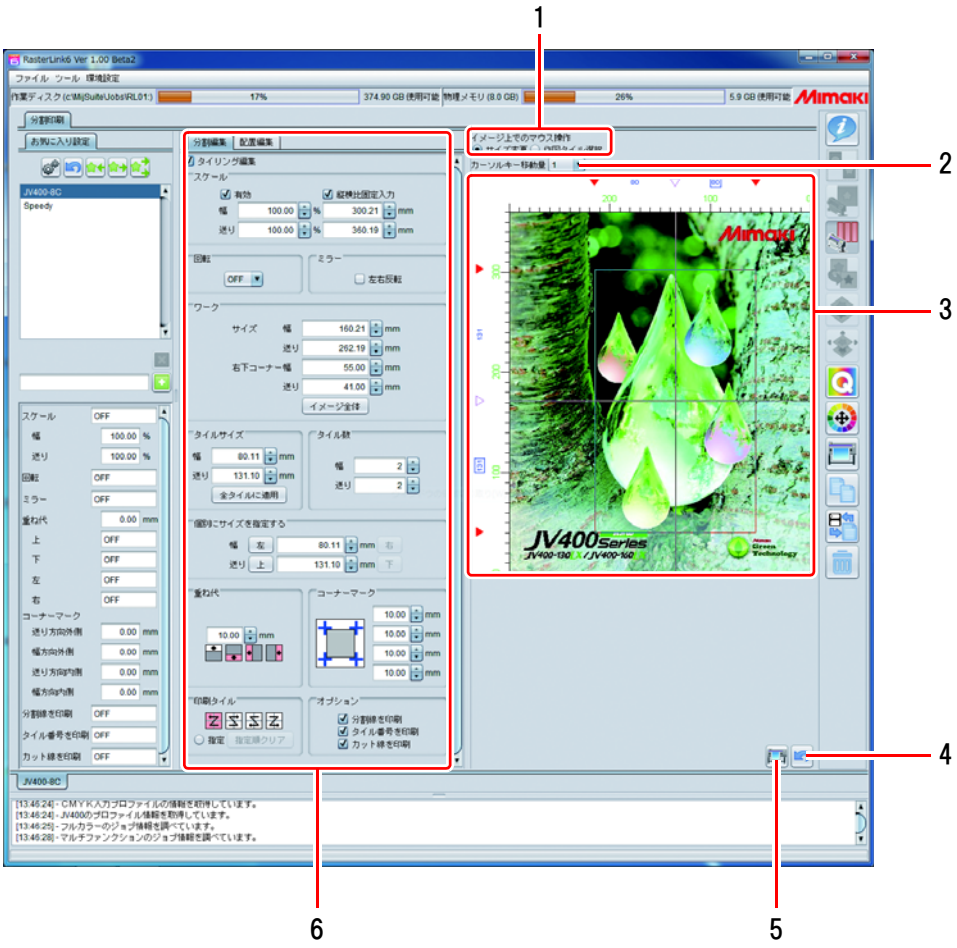
9. 印刷

印刷を実行します。

10. 元に戻す

［通常印刷］画面を表示する前の状態に戻します。

タイリング編集



1. イメージ上でのマウス操作

［サイズ変更］　［▽］マークをドラッグすると、タイルのサイズを変更できます。
キーボードのカーソルキーで［▽］マークを移動させることもできます。
操作する［▽］マークは、マウスでクリックするかキーボードのキー（幅：Z,X ／送り：Q,A）で切り替えることができます。

［作図タイル選択］　［印刷タイル］の［指定］でタイルを選択する場合に使用します。

2. カーソルキー移動量

カーソルキーで移動する移動量を設定します。

3. プレビュー

設定状態をプレビュー表示します。

4. 印刷

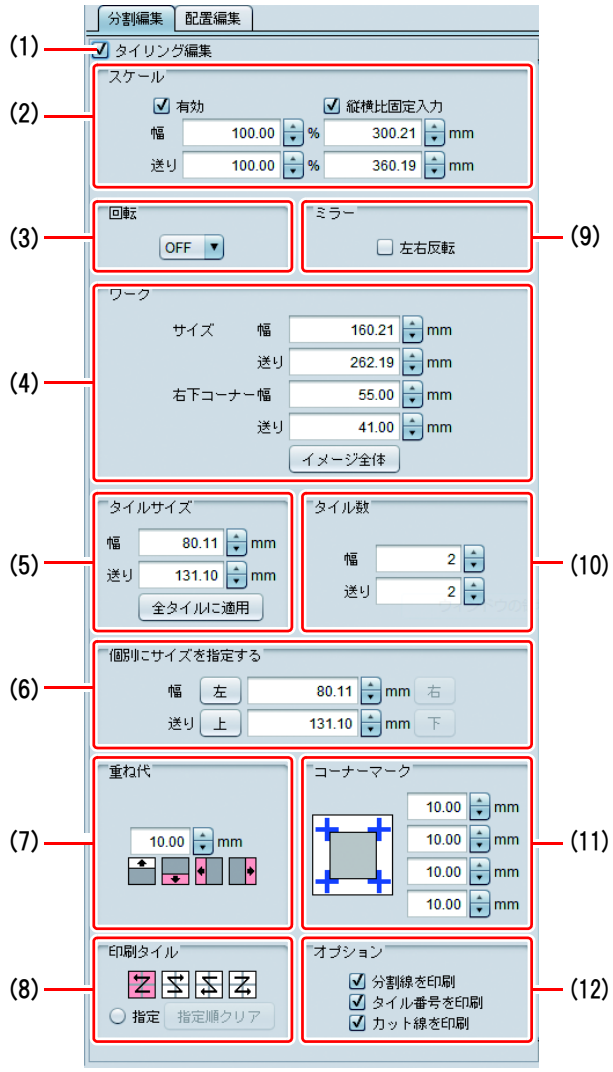
タイリング印刷を実行します。

5. 元に戻す

［タイリング印刷］画面を表示する前の状態に戻します。

6. 分割編集

画像の分割方法を設定します。



(1) タイリング編集

チェックするとタイリングの編集が有効になります。
通常印刷に戻す場合はチェックを外してください。

(2) スケール

［有効］をチェックすると、指定倍率または長さで選択ジョブの印刷サイズを設定できます。
［縦横比固定入力］をチェックすると、縦横比を保ったまま拡大／縮小できます。

(3) 回転

画像を 90 度単位で回転します。

(4) ワーク

タイリングする領域を設定します。
イメージ全体 ボタンをクリックすると、画像全体が有効になります。

(5) タイルサイズ

サイズを入力し、全タイルに適用 ボタンをクリックすると、設定サイズで分割します。

(6) 個別にサイズを指定する

指定したタイルのサイズを個別に設定します。

(7) 重ね代

重ね代のサイズと、どの方向に重ね代を付加するかを設定します。

(8) 印刷タイル

タイルの印刷順序を設定します。
［指定］を選択し、プレビュー上のタイルをクリックすると、指定したタイルのみを印刷できます。その際は、【イメージ上でのマウス操作】ラジオボタンの [作図タイル選択] を選択してください。

(9) ミラー

チェックすると、画像を左右反転します。

(10) タイル数

設定した個数で等分割します。

(11) コーナーマーク

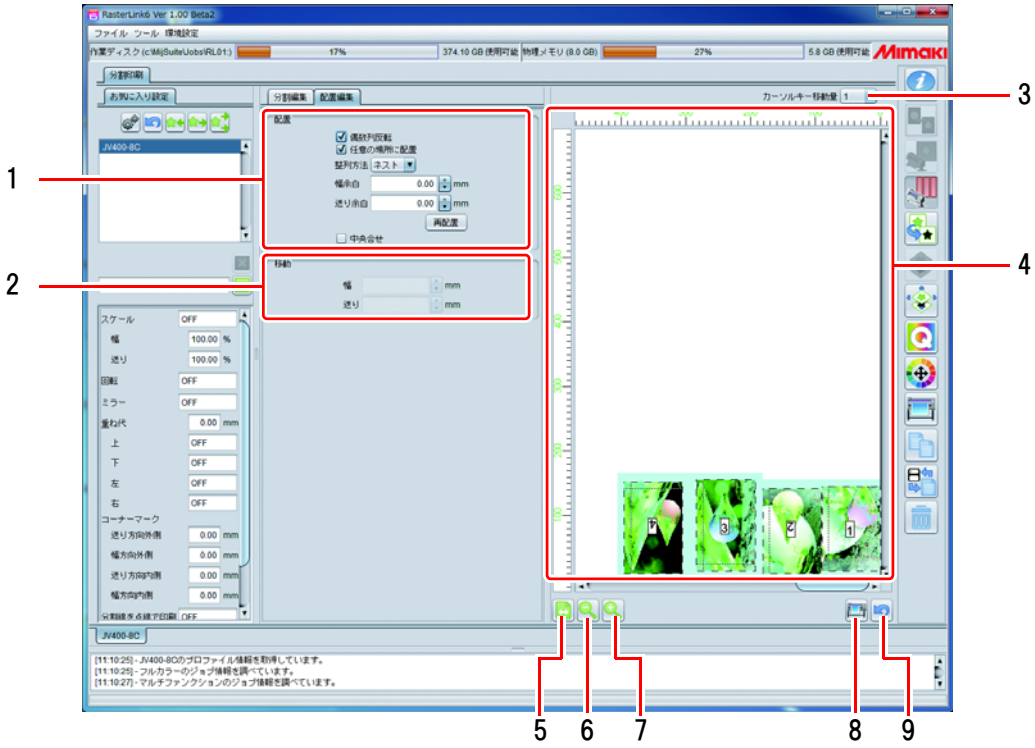
タイル分割した画像の四隅に、指定したサイズのコーナーマークを印刷します。

(12) オプション

［分割線を印刷］　タイル分割した場所と重ね代の境界を、点線で印刷します。
［タイル番号を印刷］　余白にタイル番号を印刷します。
［カット線を印刷］　タイルの周りにカット線を印刷します。

配置編集

タイルの印刷レイアウトを設定します。



1. 配置

［偶数列反転］　偶数列のタイルを 180 度反転させて配置します。
印刷したときにタイルの左右で色の差が生じる場合に有効です。
［任意の場所に配置］　チェックすると、任意の場所にタイルを配置できます。
［整列方法］　［順次］を選択すると、タイルを送り方向に順番に配置します。
［ネスト］を選択すると、幅方向にもタイルを配置し、メディアを有効に使用します。
［幅余白／送り余白］　タイル同士の余白を設定します。
［中央合わせ］　メディア幅の中央にタイルを配置します。

2. 移動

選択したタイルの印刷位置を設定します。

3. カーソルキー移動量

カーソルキーで移動する移動量を設定します。

4. プレビュー

タイルの印刷イメージを表示します。
マウスのドラッグで、タイルを移動することができます。

5. メディア幅表示

プレビューの表示幅をメディアの幅に合わせます。

6. ズームアウト

プレビューを縮小表示します。

7. ズームイン

プレビューを拡大表示します。

8. 印刷

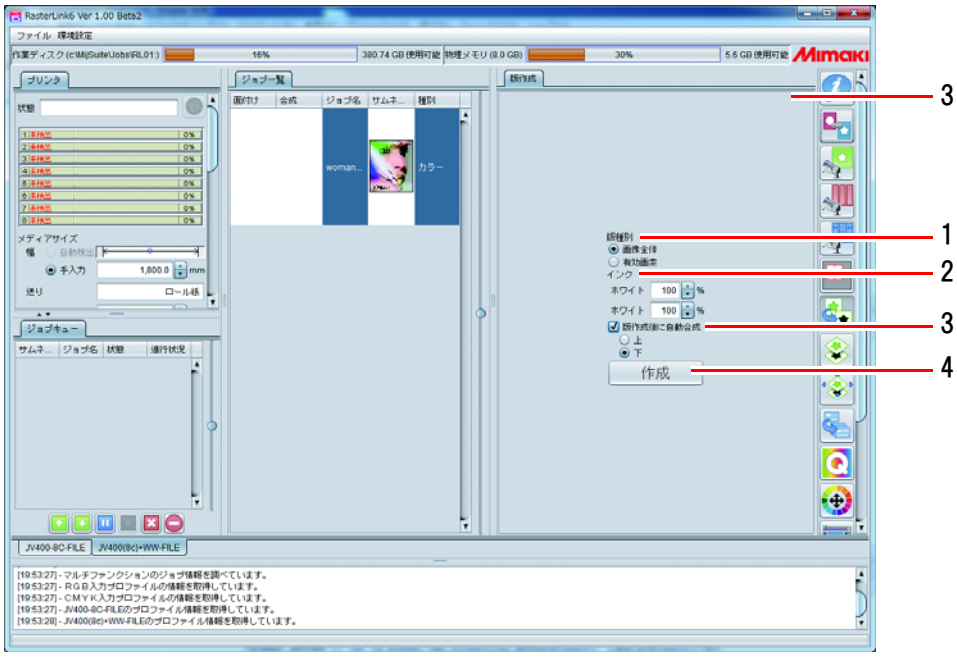
タイリング印刷を実行します。

9. 元に戻す

［タイリング印刷］画面を表示する前の状態に戻します。

版作成

特色インク用の版を作成します。
特色インクカートリッジを装着していないプリンタでは、この機能は表示されません。



1. 版種別

画像全体： 画像と同じ大きさ・形の特色版を作成します。
有効画素： 画像内の色がある部分のみの特色版を作成します。

2. インク

作成される特色のインク濃度を指定します。

3. 版作成後に自動合成

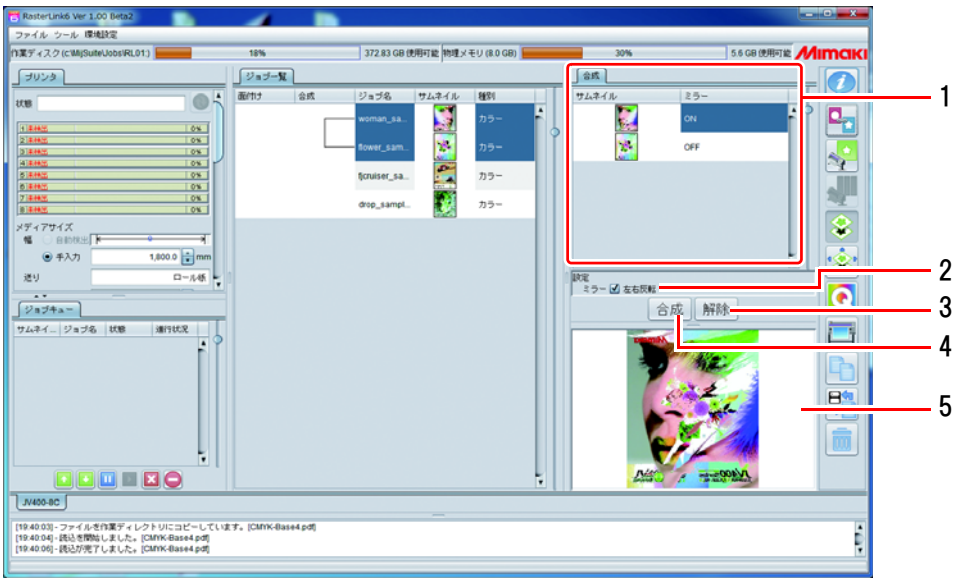
チェックすると、特色版作成後に元画像と合成することができます。
合成する際の上下関係を指定します。

4. 作成

特色版作成を実行します。

合成

複数のジョブを合成します。



1. **合成リスト**

   合成する画像の上下関係を設定します。
   画像をドラッグ＆ドロップすることで変更できます。

2. **ミラー**

   チェックをすると、［合成リスト］で選択されているジョブが左右反転されます。

3. **解除**

   合成を解除します。

4. **合成**

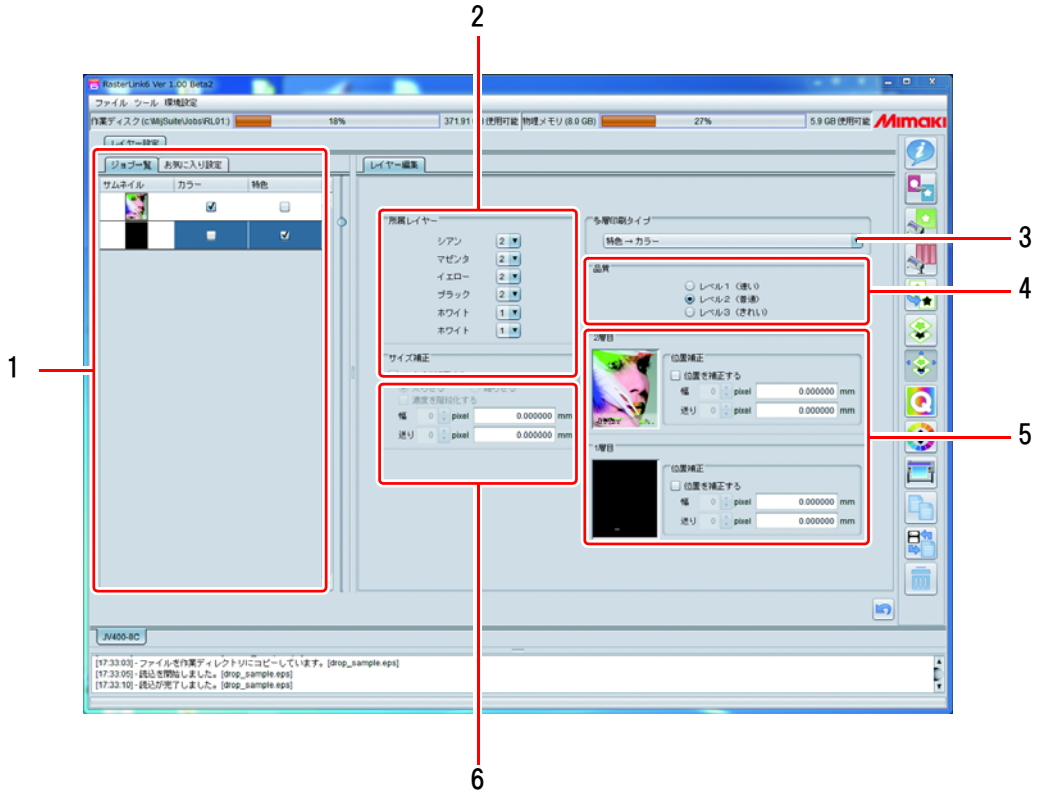
   合成を実行します。

5. **プレビュー**

   合成結果を確認できます。

レイヤー

レイヤー印刷の設定をします。
特色インクカートリッジを装着していないプリンタでは、この機能は表示されません。



1. ジョブ一覧

設定するジョブを選択します。

2. 所属レイヤー

ジョブ単位で、どの色をどの階層で印刷するかを設定します。

3. 多層印刷タイプ

多層印刷の印字方法を設定します。

4. 品質

レイヤー印刷時の印字品質を設定します。
［カラー→特色］、［特色→カラー］の 2 層印刷の場合のみ表示されます。

5. 位置補正

レイヤー毎の版ずれを補正するために、オフセット量を入力します。

6. サイズ補正

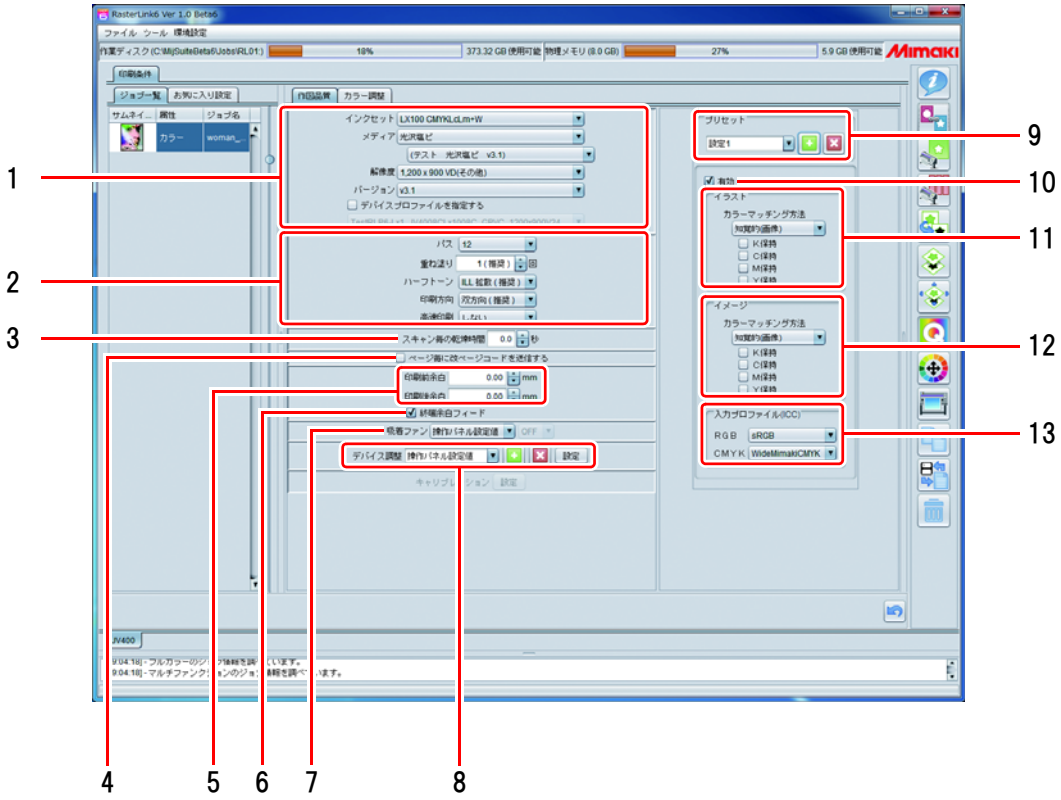
選択したジョブの有効画素を太らせたり、細らせたりすることができます。

印刷条件

作図品質

作図品質を設定します。

ご使用のプリンタによっては、表示されない項目があります。



1. デバイスプロファイル選択

インクセット / メディアの種類 / 出力解像度 / デバイスプロファイルのバージョンを指定することにより、最適なプロファイルが選択されます。

[デバイスプロファイルを指定する] をチェックすると、直接デバイスプロファイルを選択できます。

2. 印刷条件

印刷に関係する条件を設定します。

3. スキャン毎の乾燥時間

１スキャン毎の乾燥待ち時間を設定します。

4. ページ毎に改ページコード送信

チェックすると、ページ間に余白ができます。

5. 印刷前余白、印刷後余白

印刷開始前、印刷終了後の余白を設定します。

6. 終端余白 Feed

画像の終端に余白があった場合、その余白部分をフィードするかどうかを設定します。

7. 吸着ファン

吸着ファンの動作を設定します。

8. デバイス調整

プリンタの調整値を RasterLink から指定します。
［プロファイル設定値］を選択すると、プロファイルに含まれる設定値で動作します。
［操作パネル設定値］を選択すると、プリンタの操作パネルで設定されている値で動作します。
新規に名前を入力し、＋ボタンをクリックすると調整値のプリセットを追加できます。
設定 ボタンをクリックすると、プリセットの値を確認および変更することができます。

9. カラーマッチング・プリセット

カラーマッチングに関するプリセットを追加／削除します。
プリセットを追加すると、「11. 有効」～「14. 入力プロファイル (ICC)」の設定を変更できます。

10.有効

チェックをすると、カラーマッチング方法を変更できます。

11.イラスト

イラスト（ベクター）データのカラーマッチング方法を指定します。

12.イメージ

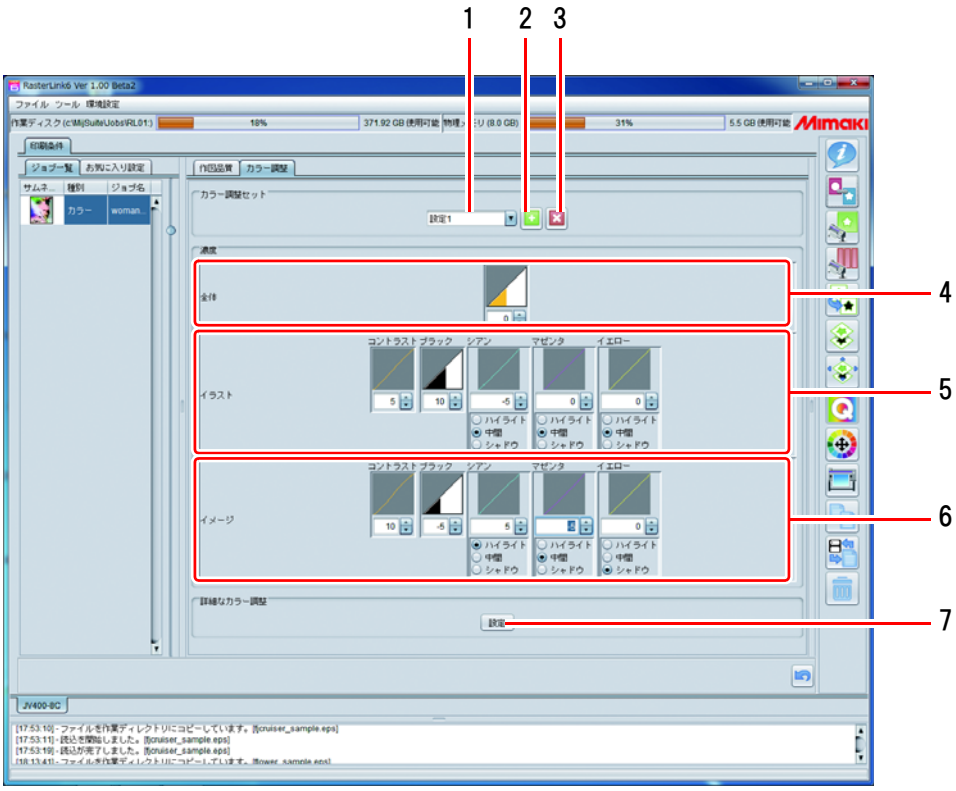
イメージ（ラスター）データのカラーマッチング方法を指定します。

13.入力プロファイル(ICC)

使用する入力プロファイルを選択します。

カラー調整

カラー調整値を設定します。



1. カラー調整ファイル名

カラー調整ファイルを選択および入力します。
デフォルトで［標準］が登録されています。
［標準］の場合は値を変更できません。

2. カラー調整ファイル追加

カラー調整ファイルを新規に作成します。

3. カラー調整ファイル削除

選択したカラー調整ファイルを削除します。
［標準］は削除できません。

4. 全体濃度

全体の濃度を調整します。

5. イラスト濃度

ベクトルデータの濃度を調整します。

6. イメージ濃度

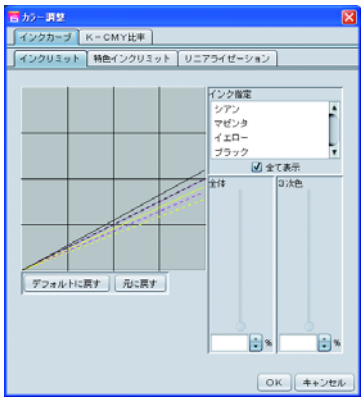
ラスターデータの濃度を調整します。

7. 詳細なカラー調整

設定 ボタンをクリックすると、下記の［カラー調整］ダイアログが表示され、詳細な設定ができます。

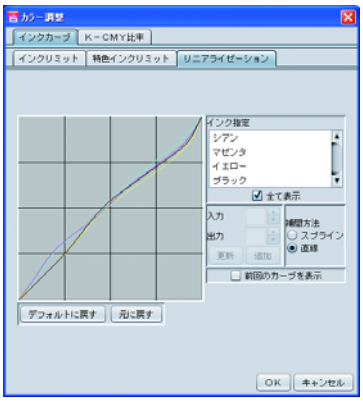
【インクカーブ調整】

(1) インクリミット



(2) 特色インクリミット

(3) リニアライゼーション



【K-CMY 比率】

(4) イラスト

(5) イメージ

(1) インクリミット

CMYK インクの最高濃度を調整します。

(2) 特色インクリミット

特色インクの最高濃度を調整します。

(3) リニアライゼーション

インク全範囲での濃度を調整します。

(4) イラスト

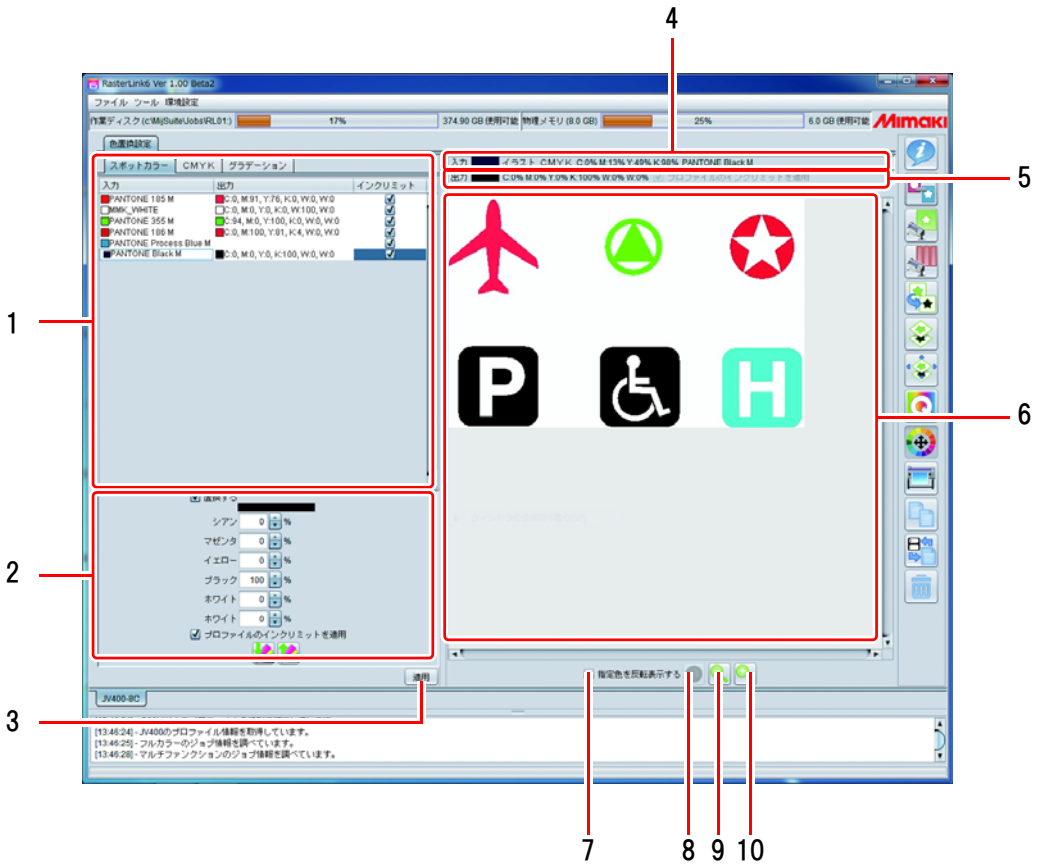
ベクトルデータに対して、混色ブラックから単色ブラックに置き換える比率を調整します。

(5) イメージ

ラスターデータに対して、混色ブラックから単色ブラックに置き換える比率を調整します。

色置換

色置換の設定をします。



1. 色置換リスト

［スポットカラー］ジョブに含まれるスポットカラーとその置換情報がリスト表示されます。
［CMYK］ジョブに含まれる CMYK カラーとその置換情報がリスト表示されます。
［グラデーション］ジョブに含まれる単色グラデーションと、その置換情報がリスト表示されます。
指定可能なグラデーションの色は以下の 4 種類です。

種類	最高濃度 (%)				最低濃度 (%)			
	C	M	Y	K	C	M	Y	K
1	100	1	1	1	0	1	1	1
2	1	100	1	1	1	0	1	1
3	1	1	100	1	1	1	0	1
4	1	1	1	100	1	1	1	0

重要！
- ラスターオブジェクトは色置換の対象にはなりません。
- Adobe Illustrator のドロップシャドウ / 透明／ / ぼかしのようなフィルタ効果をかけた色は、正しく色置換できません。
- Illustrator の［コンパチブルグラデーション＆グラデーションメッシュ］にチェックがある場合、グラデーションの色置換はできません。

［色置換リスト］と同じ色が［カラーコレクション］（☞P.51）で定義されている場合は、自動的にカラーコレクションの色置換定義が適用されます。

2. 色置換編集

選択した［入力］カラーを、指定したインクの色に置換します。
［プロファイルのインクリミットを適用］をチェックすると、出力プロファイルに含まれるインクリミットが適用されます。

重要！
- ［プロファイルのインクリミットを適用］をチェックしておけば、印刷時のインクあふれが緩和できます。
  チェックすると、色あふれを緩和させるために自動的に設定値よりも低い値に変換して印刷を行います。（100%を指定しても、それよりも低い値で印刷を行う。）
  チェックを外すと、指定した色成分値通りに印刷を行いますが、インクあふれによるにじみなどの印刷不良が出やすくなります。
  できるだけチェックした状態でお使いください。

このボタンをクリックすると、［カラーコレクション］へ色置換定義を登録することができます。

このボタンをクリックすると、［カラーコレクション］から色置換定義を読み込むことができます。

3. 適用

［色置換編集］で変更した値を適用します。

4. 入力

［入力］カラーを表示します。

5. 出力

置換後のインク色を表示します。

6. プレビュー

ジョブをプレビュー表示します。

7. 指定色を反転表示する

チェックすると、［色置換リスト］で選択されている色のオブジェクトを、プレビュー上で反転表示します。

8. 更新アイコン

プレビュー上の反転表示を更新します。

9. ズームアウト

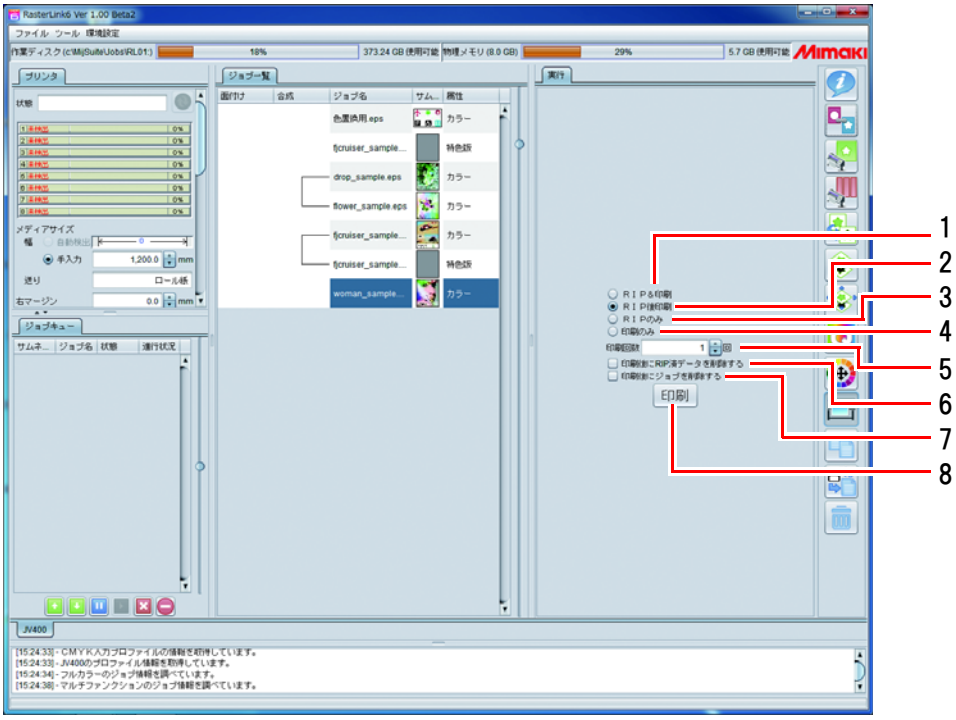
プレビューを縮小表示します。

10. ズームイン

プレビューを拡大表示します。

印刷

設定したジョブを印刷します。



1. RIP& 印刷

RIP 処理しながら、プリンタへデータ転送を行います。
次の条件では［RIP &印刷］できません。［RIP 後印刷］で印刷されます。
面付け / 合成 / 特色版 / 単色版 / 任意の場所に配置したタイリング / 最適化配置されたコピー / 任意の場所に配置したコピー

2. RIP 後印刷

RIP 処理終了後に、プリンタへデータ転送を行います。
［RIP &印刷］に比べると印刷が開始されるまでに時間がかかりますが、印刷中はプリンタのヘッドが停止しにくくなります。

3. RIP のみ

RIP 処理のみ行い、プリンタへのデータ転送は行いません。

4. 印刷のみ

RIP 済データがある場合、RIP 処理せずにプリンタへのデータ転送のみ行います。RIP 済データが無い場合は自動的に RIP します。

5. 印刷回数

印刷する回数を指定します。

6. 印刷後に RIP 済データを削除する

チェックした場合、印刷後に RIP 済データを削除します。

7. 印刷後にジョブを削除する

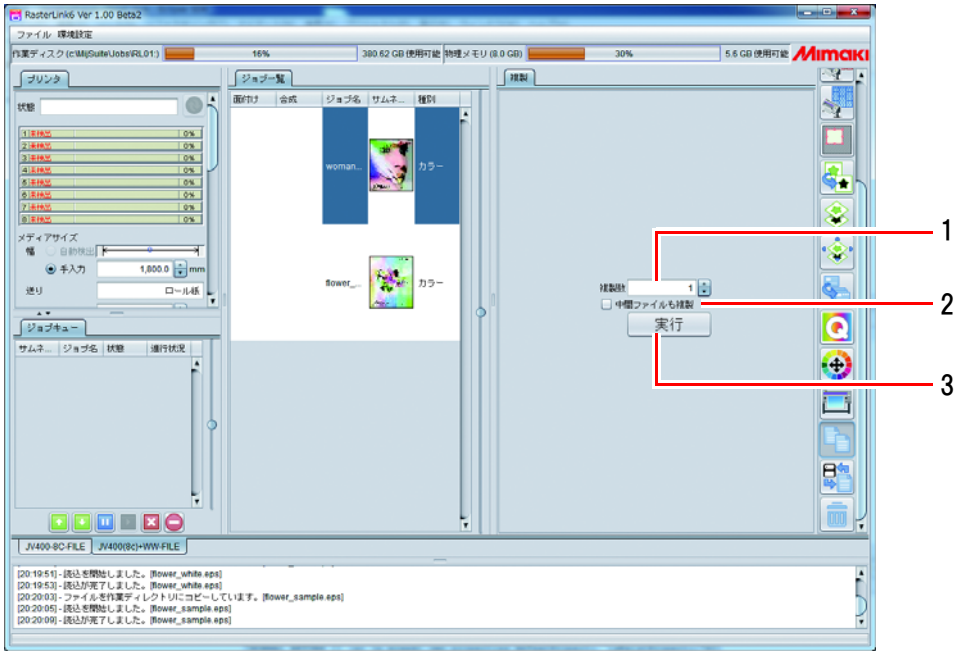
チェックした場合、印刷後にジョブをジョブ一覧から削除します。

8. 印刷

印刷を実行します。

複製

選択したジョブを複製します。



1. 複製数

複製するジョブの数を指定します。

2. 中間ファイルも複製

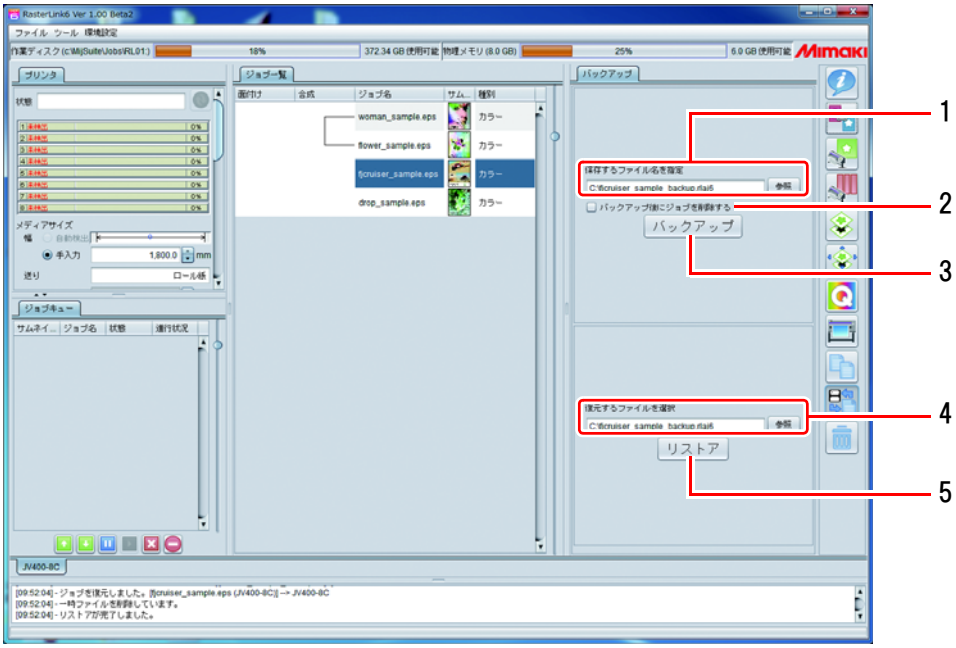
チェックすると、中間ファイルも複製されます。

3. 実行

ジョブの複製を実行します。

バックアップ･リストア

ジョブの保存・復元をします。



1. 保存するファイル名

保存するバックアップファイルのファイル名を指定します。

2. バックアップ後にジョブを削除する

チェックすると、バックアップ後にジョブが削除されます。

3. バックアップ

選択しているジョブを、指定したバックアップファイルに保存します。
複数のジョブを一度にバックアップすることができます。

4. 復元するファイル

復元するバックアップファイルを指定します。

5. リストア

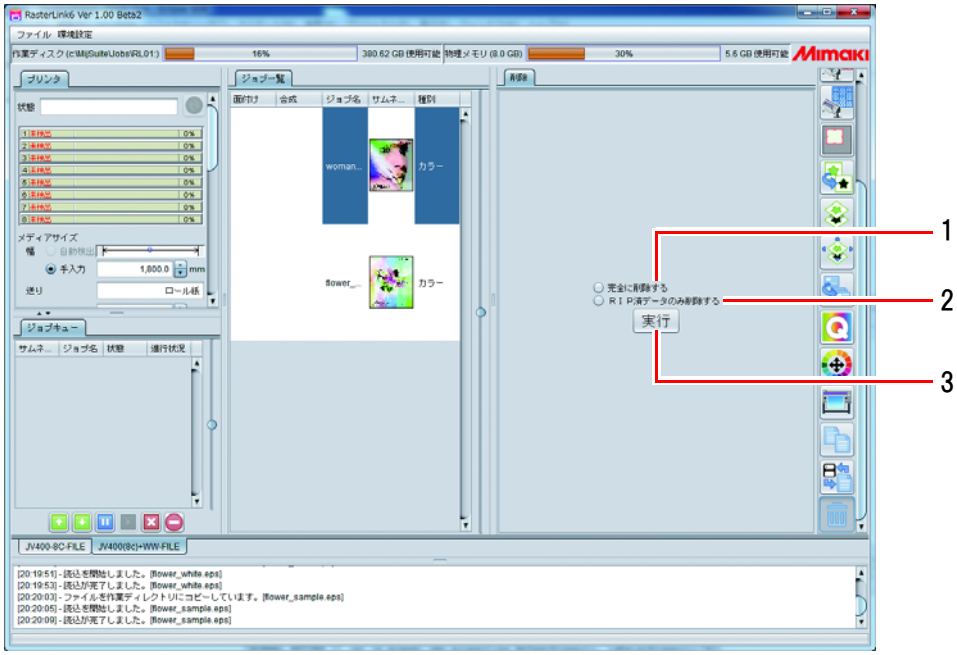
バックアップファイルからジョブを復元します。

重要！

・ RasterLinkPro5 以前のバックアップジョブファイルはリストアできません。

削除

選択したジョブを削除します。



1. 完全に削除する

ジョブ一覧からジョブを完全に削除します。

2. RIP 済データのみ削除する

RIP 済データがある場合、RIP 済データのみを削除し、ジョブはジョブ一覧に残します。

3. 実行

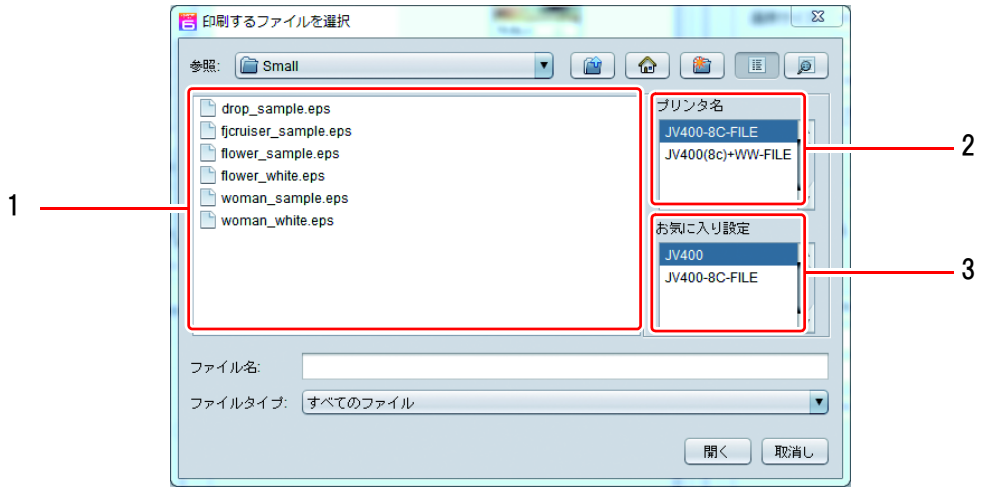
ジョブの削除を実行します。

メニュー

メニュー一覧

グループ	メニュー	
ファイル	開く …	画像ファイルを選択し、ジョブを作成します。（☞P.42）
	終了	アプリケーションを終了します。
ツール	RGB カラーチャート …	RGB カラー用のカラーチャートを作成します。（☞P.43）
	CMYK カラーチャート …	CMYK カラー用のカラーチャートを作成します（☞P.43）
	特色カラーチャート …	特色用のカラーチャートを作成します。（☞P.43）
	カラーコレクション …	色置換定義のセットを作成します。（☞P.50）
環境設定	オプション …	各種設定を行います。（☞P.53）
	プリンタ管理 …	プリンタの登録／削除を行います。　（☞P.57）

[ファイル]–[開く …]



1. ファイル選択

印刷する画像ファイルを選択します。

2. プリンタ名

印刷するプリンタを選択します。

3. お気に入り設定

作成するジョブに適用する設定を選択します。

[ツール]–[RGB ／ CMYK ／特色カラーチャート]

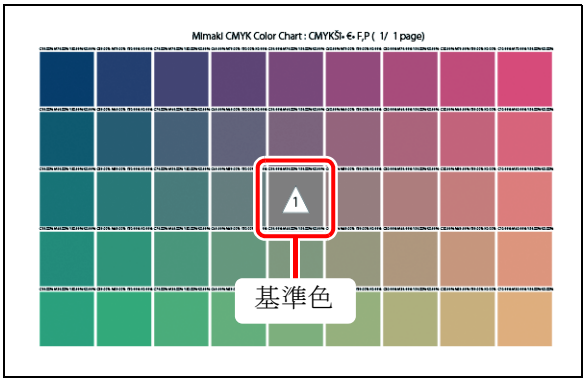
カラーチャートについて

カラーチャートとは、指定した色 (基準色) を中心に、ある一定の基準で色成分を変化させた色見本を表にしたものです。

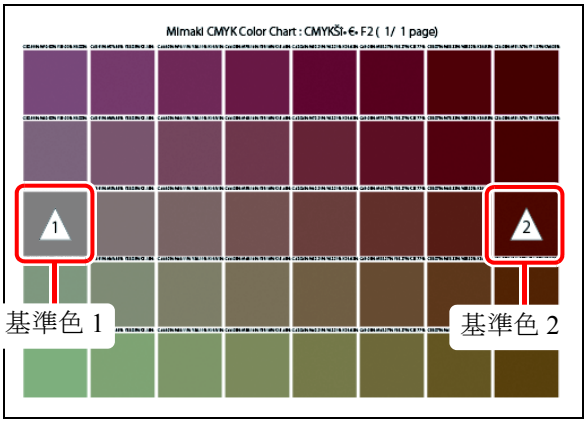
基準色を 2 つまたは 4 つ設定することもできます。その場合、2 つ (または 4 つ) の基準色の間の色成分の変化をカラーチャートにして作成できます。

カラーチャートの例

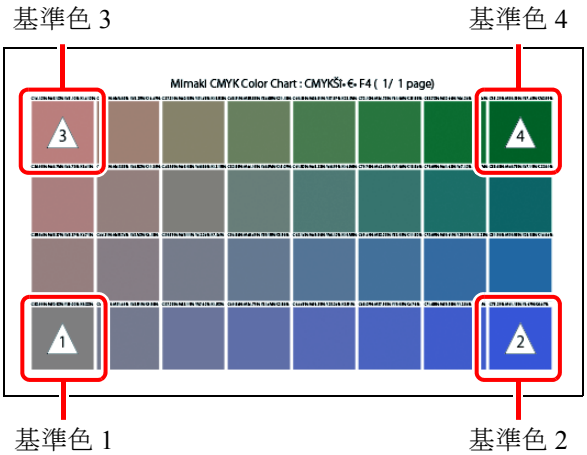
基準色を 1 つにしたとき



基準色を 2 つにしたとき



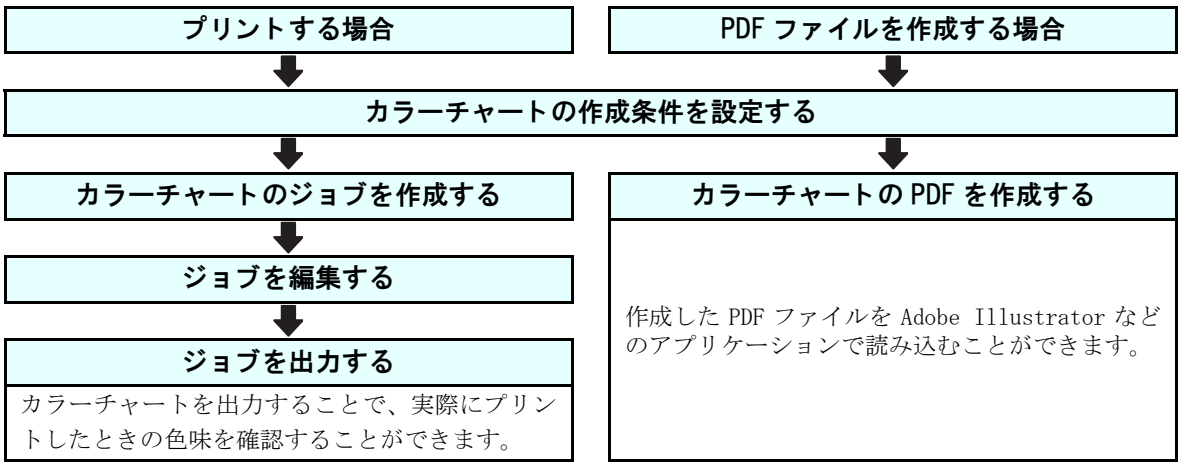
基準色を 4 つにしたとき



RGB/CMYK カラーチャートの活用方法

RGB/CMYK カラーチャートの作成フローと活用方法を紹介します。

作成したチャートをプリンタで出力して、実際の色味を確認したり、カラーチャートの PDF ファイルを作成して Adobe Illustrator などのアプリケーションで読み込むことができます。



特色カラーチャートの活用方法

特色カラーチャートの作成フローと活用方法を紹介します。

作成したチャートをプリンタで出力して、実際に印刷するときの色味を確認することができます。

カラーチャート用の [お気に入り] を作成する

↓

特色カラーチャートの作成条件を設定する

↓

カラーチャートのジョブを作成する

↓

ジョブを編集する

↓

ジョブを出力する

カラーチャートを出力することで、実際にプリントしたときの色味を確認することができます。

↓

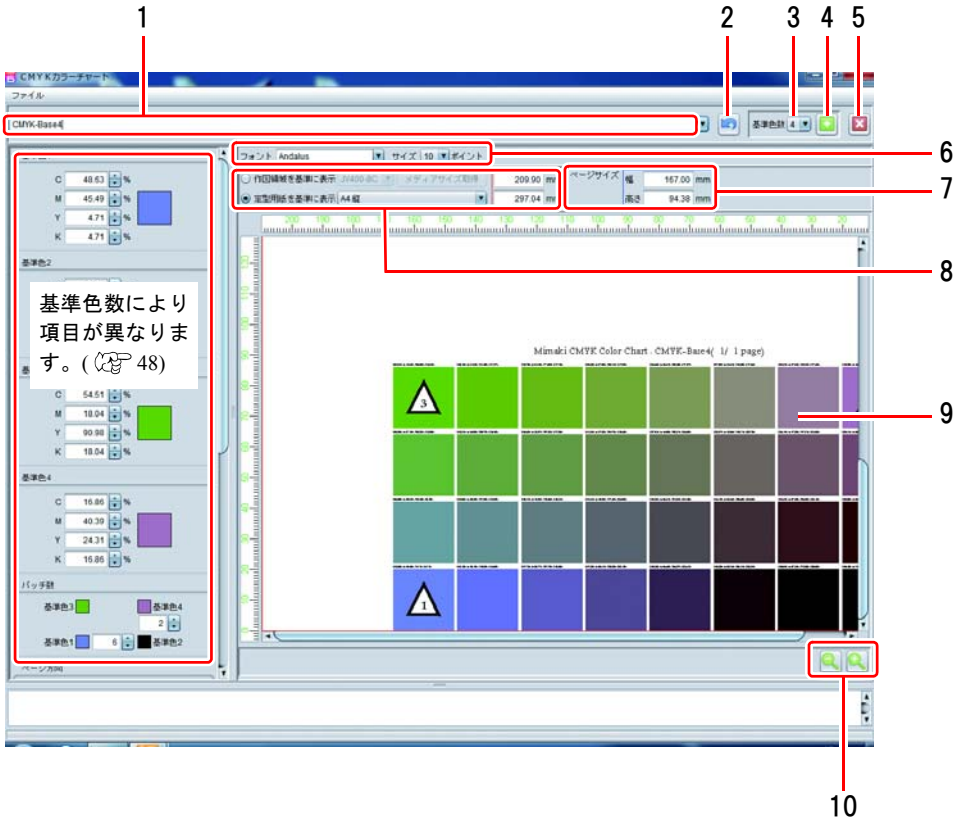
印刷時に使用する色を [カラーコレクション] に追加する

［カラーコレクション］には、色置換情報も一緒に登録されます。

［カラーコレクション］と［色置換］の関係については（☞P. 50）を参照してください。

RGB ／ CMYK ／特色カラーチャート

【画面】



1. 名称

カラーチャートの名称を入力または選択します。

2. 元に戻す

カラーチャートの設定値を、カラーチャートダイアログを開いたときの設定値に戻します。

3. 基準色数

基準色の数を選択します。

重要！

・ 追加 ボタンクリック後に基準色数を変更することはできません。まず、基準色数を決めてから 追加 ボタンをクリックしてください。

4. 追加

クリックするとカラーチャート定義ファイルが作成されます。

5. 削除

カラーチャート定義ファイルを削除します。

6. フォント

カラーチャートに表示するフォントの名称とサイズを指定します。

7. ページサイズ

カラーチャートのサイズを指定します。

8. プレビュー表示サイズ

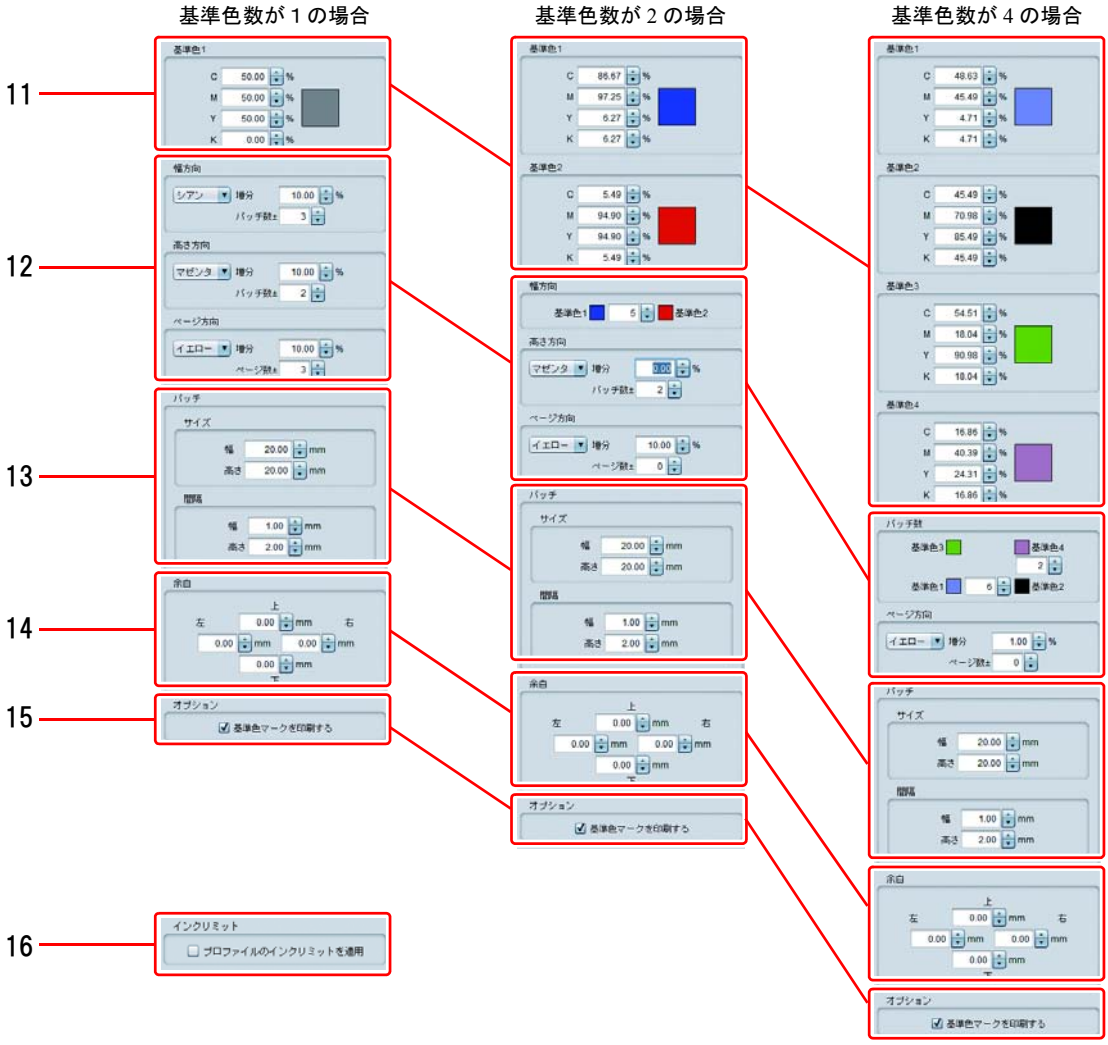
プレビューに表示するサイズを指定します。
［作図領域を基準に表示］を選択すると、プリンタにセットしてあるメディアのサイズで表示します。
［定型用紙を基準に表示］を選択すると、選択した定型用紙のサイズで表示します。

9. プレビュー

設定値でカラーチャートをプレビュー表示します。
チャートを右クリックすると表示される［基準色に適用］を選択すると、選択した色を基準色として設定することができます。
特色カラーチャートの場合、右クリックすると表示される［カラーコレクションに登録］を選択すると、選択した色を［カラーコレクション］（☞P.51）に登録することができます。

10.ズーム

プレビュー表示を拡大／縮小します。



11. 基準色カラー

基準色の色成分を指定します。

RGB または CMYK カラーチャートの場合、カラープレビューをクリックすると、カラー選択ダイアログが表示されます。

特色カラーチャートの場合、カラープレビューをクリックすると、［カラーコレクション］ダイアログが表示されます。

12. パッチ変化量

基準色からの色成分の変化量と、変化させる個数を設定します。

13. パッチ

カラーパッチのサイズと間隔を指定します。

14. 余白

ページの上下左右からの余白を設定します。

15. 基準色マークを印刷する

チェックをすると、基準色マークをカラーチャート上に印刷します。

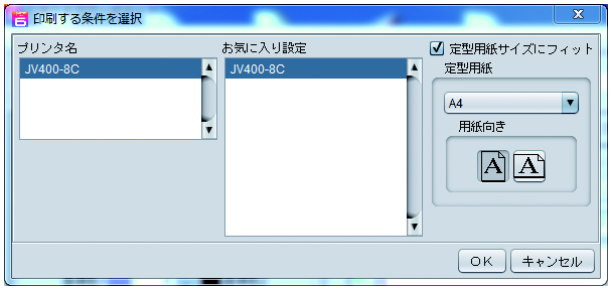
16. インクリミット

チェックをすると、プロファイルのインクリミットが適用されます。

【メニュー】

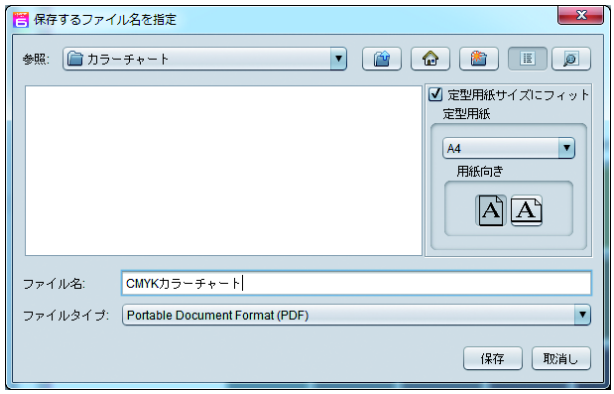
1. ジョブ作成

カラーチャートのジョブを作成します。
[定型用紙サイズにフィット] をチェックすると、指定したサイズに拡大／縮小されたジョブが作成されます。



2. PDF ファイル作成

カラーチャートの PDF ファイルを作成します。
[定型用紙サイズにフィット] をチェックすると、指定したサイズに拡大／縮小された PDF ファイルが作成されます。



重要！

・ 特色カラーチャートの PDF ファイルは作成できません。

3. 終了

カラーチャート作成を終了します。

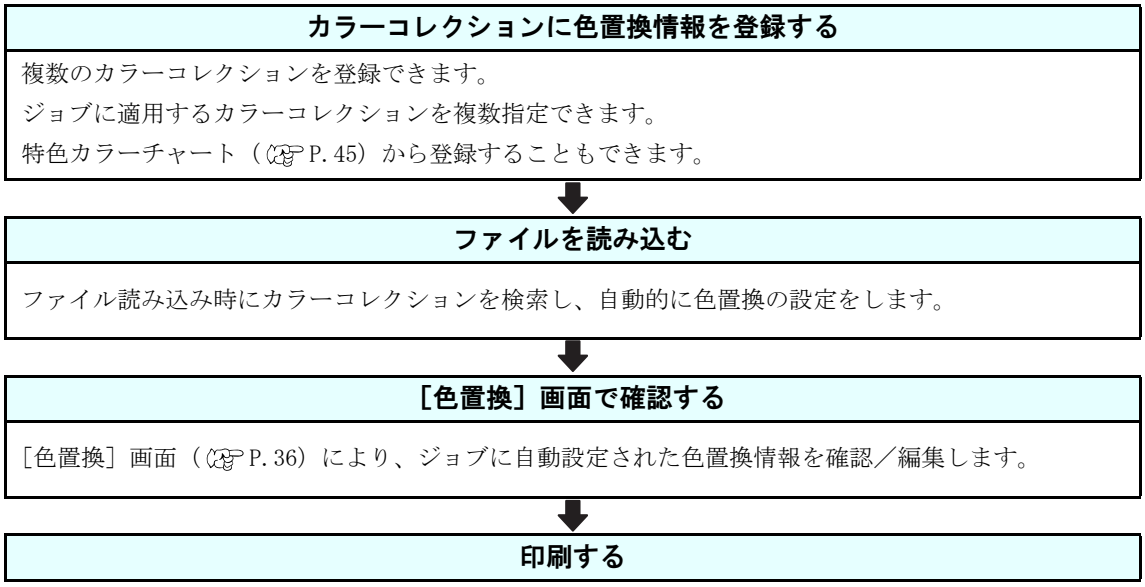
［ツール］–［カラーコレクション］

カラーコレクションと色置換

従来の RasterLink では、［色置換セット］に色置換情報を定義し、ジョブに対し一つの［色置換セット］を関連付ける仕組みになっていました。そのため、一つの［色置換セット］にすべての色置換情報を定義する必要がありました。

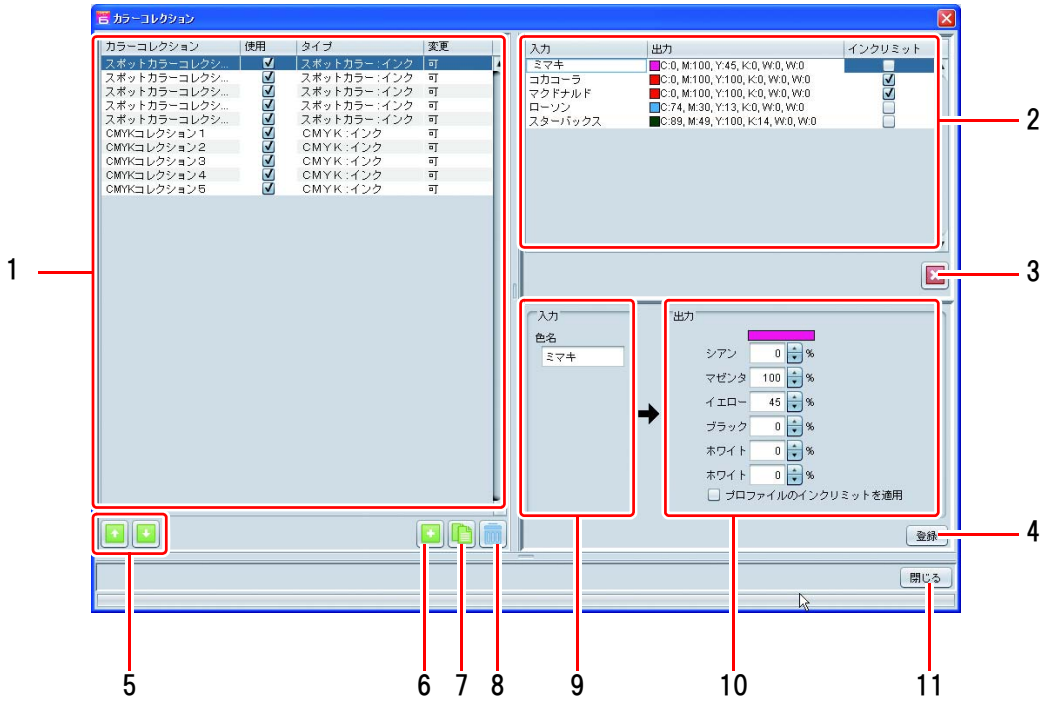
RasterLink6 では［色置換セット］を［カラーコレクション］としてリニューアルし、一つのジョブに対し複数のカラーコレクション（色置換セット）を同時に適用できるようになりました。

色置換情報の定義から印刷までの流れは、通常以下のようになります。



カラーコレクション

色置換定義のセットを作成します。



1. カラーコレクションリスト

色置換定義セットのリストを表示します。
［使用］をチェックすると、ファイル読み込み時にカラーコレクションを上から順番に検索し、マッチした色を自動的に色置換設定します。

2. 色置換定義リスト

選択したカラーコレクションの色置換定義を表示します。

3. 色置換定義の削除

選択した色置換定義を削除します。

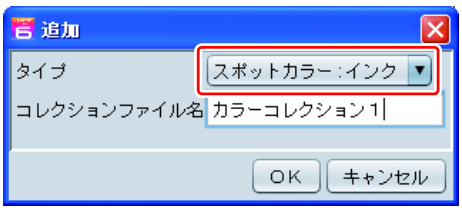
4. 登録

［入力］および［出力］で設定された値で、色置換定義を登録します。

5. カラーコレクションの検索順の変更

選択したカラーコレクションを、リストの１つ上または下へ移動します。
ファイル読み込み時に、上位のリストから順番にカラーコレクションを検索します。

6. カラーコレクションの追加



カラーコレクションを追加します。
右記の［追加］画面で［タイプ］を選択することにより、カラーコレクションの種類を指定します。
［スポットカラー：インク］　スポットカラーを指定のインク濃度に置換します。
［CMYK：インク］　　CMYK カラーを指定のインク濃度に変換します。
［グラデーション］　　単色のグラデーションを指定のインク濃度に変換します。

重要!

色置換できるグラデーションには、以下の制約があります。
- Illustrator で作成したベクタオブジェクトのみ。
- Illustrator の次の機能を実行したグラデーションは、色置換できません。
  ［分割・拡張］
  ［ラスタライズ］
  ［フィルタ効果］
  ［コンパチブルグラデーション＆グラデーションメッシュ］にチェックがある

7. カラーコレクションの複製

選択したカラーコレクションを複製します。

8. カラーコレクションの削除

選択したカラーコレクションを削除します。

9. 入力

色置換する色を指定します。
タイプが［スポットカラー：インク］の場合は、スポットカラー名を指定します。
［CMYK：インク］の場合は、CMYK 値を指定します。

10. 出力

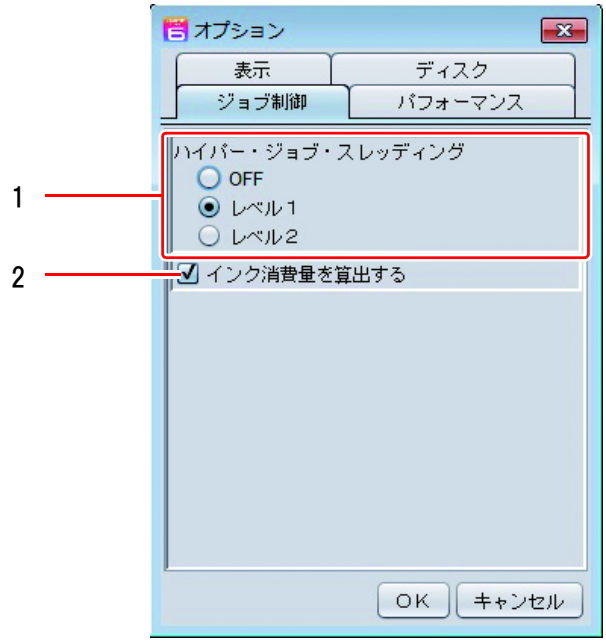
色置換後のインクの濃度を設定します。
［プロファイルのインクリミットを適用］をチェックすると、出力プロファイルで定義されているインクリミットを適用します。

11. 閉じる

カラーコレクション画面を閉じます。

[環境設定]–[オプション ...]

ジョブ制御



1. ハイパー・ジョブ・スレッディング

1 台のプリンタに対して複数のジョブを並列実行する際の、ジョブの並列実行方法を指定します。変更した設定は、変更後に実行したジョブから有効になります。

OFF： ジョブを並列実行しません。
スプール処理と RIP 処理と印刷処理が順次に実行されます。

レベル 1： RIP 処理と印刷処理を並列実行します。
最大で 2 つのジョブが並列実行されます。

レベル 2： スプール処理と RIP 処理と印刷処理を並列実行します。
最大で 3 つのジョブが並列実行されます。

2. インク消費量を算出する

チェックするとおおよそのインク消費量を計算により求めます。

パフォーマンス

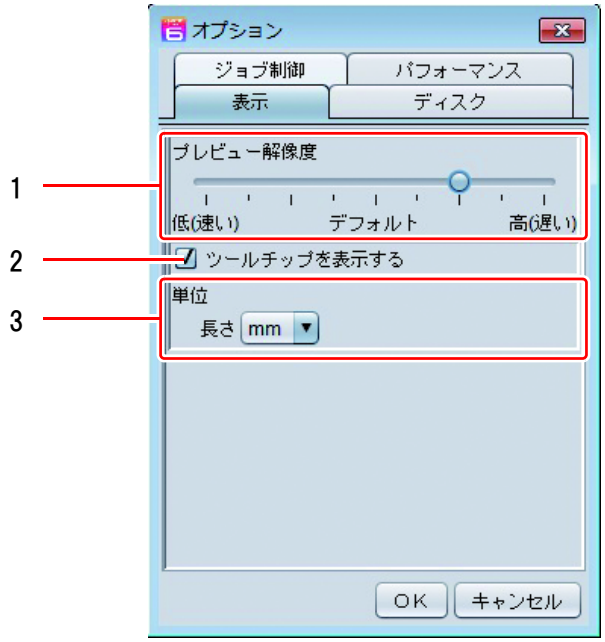
1. 優先度

RIP 中に操作レスポンスが著しく低下する場合、［操作性優先］にすることで操作レスポンスが向上します。ただし RIP 速度は低下するため、特に問題がない場合はデフォルトの設定のままご使用ください。

2. RIP コアメモリ

RIP コアに割り当てるメモリ量を指定できます。
グラデーションデータを RIP する場合、この値を大きくすることで、処理速度が向上する場合があります。

表示



1. プレビュー解像度

スプール時に作成するプレビュー画像の解像度を指定します。

2. ツールチップを表示する

チェックすると、マウスポインタ位置の項目に対して簡単な説明を表示します。

3. 単位

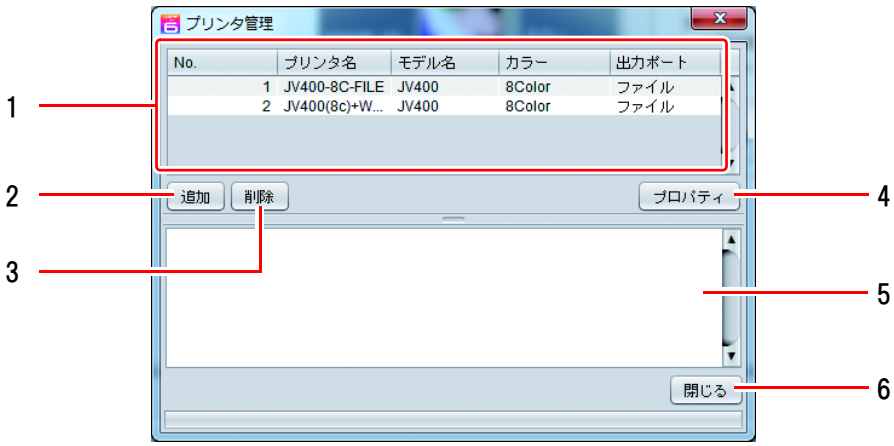
長さ（mm、inch）の単位を設定します。

ディスク

1. 確保するディスク残量

作業フォルダを設定しているハードディスクの、最低空き容量を設定します。
ジョブの実行中に空き容量が設定値を下回った場合、実行を中断します。

[環境設定]–[プリンタ管理]



1. プリンタリスト

登録されているプリンタの一覧を表示します。

2. 追加ボタン

プリンタを追加します。

3. 削除ボタン

プリンタリストで選択したプリンタを削除します。

4. プロパティボタン

プリンタリストで選択したプリンタの設定を変更します。

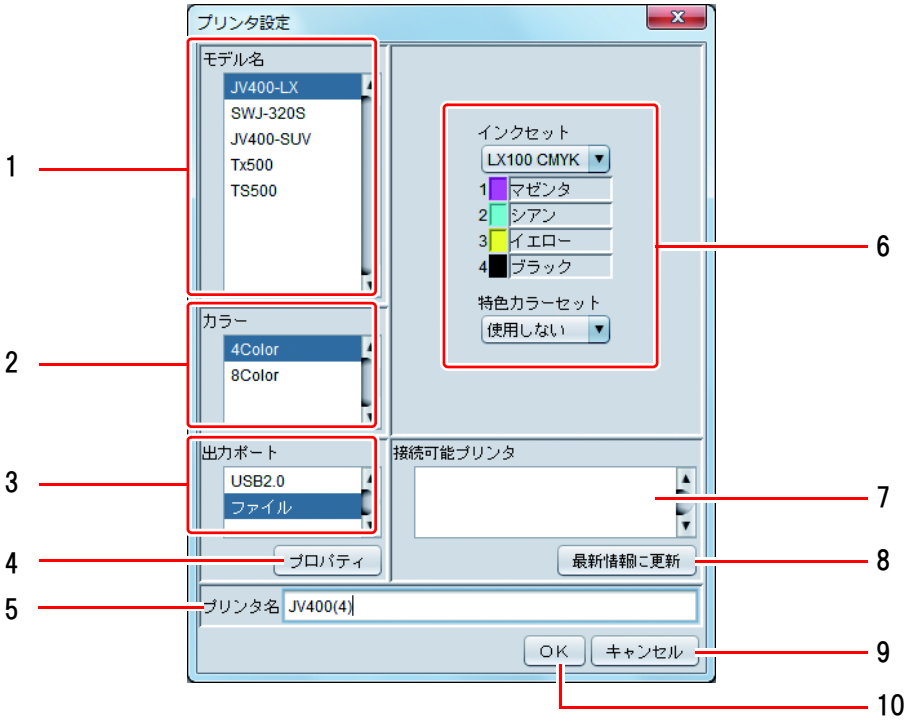
5. 情報表示

プリンタ管理の処理状況を表示します。

6. 閉じるボタン

プリンタ管理画面を閉じます。

プリンタの追加



1. **モデル名**

   登録するプリンタのモデル名を選択します。

2. **カラー**

   登録するプリンタのカラーを選択します。

3. **出力ポート**

   出力するポートの種類を選択します。

4. **出力ポートのプロパティ**

   出力するポートに対する情報を設定します。

5. **プリンタ名**

   他のプリンタと区別するために、名称を入力します。

6. **インクセット**

   プリンタにセットしているインクの種類を選択します。

7. **接続可能プリンタリスト**

   接続可能なプリンタが表示されます。

8. **最新の情報に更新**

   接続可能プリンタリストの情報を最新の状態にします。

9. **キャンセルボタン**

   プリンタの登録をキャンセルします。

10. **OK ボタン**

    プリンタを登録します。

注意事項

No.	項目
1	**同一 PC に RasterLinkPro5 と RasterLink6 をインストールする場合、RasterLinkPro5 は Ver2.70 以上をインストールしてください。** Ver2.70 未満と RasterLink6 を共存させると、プリンタドライバ、ホットフォルダが競合する問題が発生します。
2	**Demo 版で読み込んだジョブは、本バージョンにバージョンアップ後、再 RIP してください。** 再 RIP せずに印刷のみを実行すると正常に印刷されません。

D202347-11-15062012
© 2012 MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. Allright reserved.

NH
SW: 1.1